

平成26年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価の報告書

(対象：平成25年度実施事務及び事業等)

平成26年12月

亘理町教育委員会

目 次

I 【 概 要 】

1. 教育委員会について	1
亶理町教育委員会委員	
2. 本報告書について	2
3. 対象とする事務及び事業等と点検・評価の方法について	
意見等をいただいた学識経験者	
4. 亶理町教育基本方針	3
5. 平成25年度亶理町教育重点施策	3～4
6. 亶理町教育委員会の組織機構図	5

II 【 教育委員の活動状況等 】

1. 教育委員会の会議の開催状況	6～9
2. 会議以外の活動状況	10

III 【 参考資料 】

1. 平成25年度 教育費内訳（決算額）	11
2. 学校の状況	12

IV 【 重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート 】

（1）学校教育の充実

{ 町立小・中学校 編 }

① 基礎・基本の習得と活用力の育成	15
② 学習の習慣化による学力向上	16
③ 志（こころざし）教育 【 小学校 】	17
④ 志（こころざし）教育 【 中学校 】	18
⑤ 体力向上・健康増進と安全教育	19
⑥ 災害体験の伝承と防災教育	20
⑦ 地域に即した農業体験学習	21
⑧ 地域に開かれた学校づくり	22
⑨ 学力向上に向けた取り組み	23
⑩ 「心のケア」支援の推進	24
⑪ 特別支援教育の推進	25

⑫ 学校教育施設 管理整備事業	26
⑬ 安全指導と食育の推進	27
⑭ 逢隈小サマースクール2013	28
{ 学務課 編 }	
⑮ 外国語指導助手配置事業	31
⑯ 小中学校情報教育事業	32
⑰ 小中学校教育振興事業（特色ある学校づくり）	33
⑱ 学校保健推進事業	34
⑲ 特別支援教育推進事業	35～36
⑳ 要保護・準要保護児童生徒就学援助事業，特別支援教育就学奨励事業	37
㉑ 学校教育施設管理整備事業	38～39
㉒ 公立学校施設災害復旧事業	40
㉓ 奨学金貸付事業	41～42
㉔ 学校給食センター事業	43～44
㉕ 私立幼稚園就園奨励事業	45～46

（２）生涯学習の充実と振興

⑳ 生涯学習推進体制の整備充実	49
㉑ 生涯学習に関する情報管理・提供体制の充実	50
㉒ 生涯学習機会の拡充と学習活動の促進支援の強化	51
㉓ 多様な学習機会及び交流機会の充実	52～53
㉔ 図書館活動	54～55
㉕ 生涯学習拠点施設の整備充実	56

（３）文化の創造と活用

㉖ 活動拠点施設の整備と全町的な芸術文化活動の推進	59
㉗ 芸術文化団体の育成と指導者の確保	60
㉘ 文化財保護事業	61～62
㉙ 文化財めぐり事業	63
㉚ 郷土資料館事業（資料収集・保存）	64
㉛ 郷土資料館事業（展示関係）	65
㉜ 郷土資料館事業（教育普及活動）	66～67
㉝ 町史編さん事業	68

(4) 社会体育とスポーツの振興

④⑩ 公民館事業（社会体育） {亘理中央・逢隈・荒浜・吉田地区公民館}	71
④⑪ 佐藤記念体育館事業（社会体育）	72
④⑫ 吉田体育館事業・荒浜体育館事業（社会体育）	73
④⑬ 海洋センター事業（社会体育）	74
④⑭ スポーツ顕彰式	75
④⑮ 海洋センター管理事業	76
④⑯ 吉田体育館・荒浜体育館管理事業	77
④⑰ 屋外体育施設整備事業（公認マラソンコース整備事業）	78
④⑱ 社会体育事業（わたり復興マラソン大会）	79

I 【 概 要 】

1. 教育委員会について

教育委員会は、首長から独立した立場ですべての都道府県及び市町村等に設置され

① 学校その他の教育機関を管理し、学校の組織編制、教育課程、教科書その他の教材の取扱及び教育職員の身分取扱に関する事務を行う。

② 社会教育その他教育、学術及び文化に関する事務を管理、執行する。

とされており、委員の合議によって事務局を指揮監督し職務を遂行する行政機関です。

委員は、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有するもののうちから、町長が、町議会の同意を得て任命します。その定数は、標準では5人とされており、亘理町教育委員会でも委員は5名で構成されています。（下段参照）

その任期は、4年で再任が認められています。

そのうち、委員長は任期は1年で、委員の中から選挙され、教育委員会の会議を主宰し、委員会を代表します。

教育長は、教育委員の中から教育委員会が任命し、教育委員会の指揮監督の下に教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどります。

また、これらの事務を処理するために、事務局が置かれています。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」により平成27年4月1日からは、経過措置の後に教育委員会を代表する新たな責任者（新教育長）が置かれる等の、教育委員会のしくみの大きな変更があることが決まっています。

亘理町教育委員会の、具体的な機構図は、5ページに示します。

.....

亘理町教育委員会委員

(平成26年10月1現在)

委員長	佐藤正行
委員長職務代行者	佐藤徳美
委員	玉田俊一
委員	江戸寿
委員(教育長)	岩城敏夫

2. 本報告書について

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に定めるところにより、互理町教育委員会の権限に属する教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行った結果を、本報告書に取りまとめて作成し、これを互理町議会に提出するとともに、公表するものです。

3. 対象とする事務及び事業等と点検・評価の方法について

対象とする事務及び事業等については、平成25年度に実施した事務及び事業等のうち、点検・評価を行うにあたり互理町教育重点施策等（3～4ページ参照）から特に重要と思われるものについて選定し、その概要と実施状況等について取りまとめたうえで、まず、事務局及び学校の担当者による点検・評価を行い、次に、教育委員及び教育についての造詣が深い学識経験者2名をまじえた会議を行う中で、それぞれの内容等についてディスカッション形式で十分に理解を深めて点検・評価をおこない、「重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート」に意見等を取りまとめました。

.....

意見等をいただいた学識経験者

只野嘉邦氏（互理町下茨田在住）

武藤育子氏（互理町吉田在住）

4. 亘理町教育基本方針

東日本大震災復興計画をふまえ、学校を拠点とした災害に強い地域づくりの理念に基づき、心豊かでたくましい人づくり・活力あるふるさとづくりをめざし、

- ◇ 「生きる力」の育成をめざす学校教育
- ◇ 生きがいをもち、支え合う地域社会
- ◇ 地域の伝統や文化の活用と創造
- ◇ 魅力あるスポーツの振興

を中心に、学校・家庭・地域社会が一体となって、町民の生涯にわたる学習の充実に努める。

5. 平成25年度 亘理町教育重点施策

東日本大震災復興計画の基本理念をふまえ、学校教育と社会教育が連携して、町民一人一人が自己実現をめざし、健康で生きがいに満ちた生涯学習社会を実現するために、次の施策を行う。

(1) 学校教育の充実

確かな学力・豊かな心・たくましい体の調和のとれた「生きる力」の育成に努める。

ア 創意ある教育課程の編成

- ① 基礎・基本の確実な習得と定着及び活用力の育成
- ② 学習習慣の確立と主体的学習による学力向上の推進及び体験学習の充実
- ③ 規範意識を大切にされた心の教育及び「志教育」の推進
- ④ 体力・運動能力の向上及び健康増進と安全教育の推進
- ⑤ 災害体験の伝承と防災及び復興教育の推進

イ 創意に満ちた学校経営

- ① 地域に即した特色ある学校経営の推進
- ② 家庭、地域社会に開かれた学校づくりの推進
- ③ 教職員の研修の充実と学校評価を通じた創造的な学校経営の展開

ウ 学習環境の充実と学習活動支援体制

- ① 児童生徒への「心のケア」の継続的支援の推進
- ② 教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
- ③ 学習環境の整備充実と適切な管理運営
- ④ 仮設住宅に居住する児童生徒への学習環境の支援
- ⑤ 児童生徒の安全指導の徹底と食育の推進
- ⑥ 児童生徒の健全育成に関する関係機関との連携

(2) 生涯学習の充実と振興

潤いある生活の実現をめざし、生涯にわたる学習の支援に努める。

- ① 生涯学習推進体制の整備充実
- ② 生涯学習に関する情報管理・提供体制の充実
- ③ 生涯学習機会の拡充と学習活動の促進支援の強化
- ④ 多様な学習機会及び交流機会の充実
- ⑤ 図書館活動の充実
- ⑥ 生涯学習拠点施設の整備充実

(3) 文化の創造と活用

かおり高い芸術文化の創造と文化財の保護及び活用に努める。

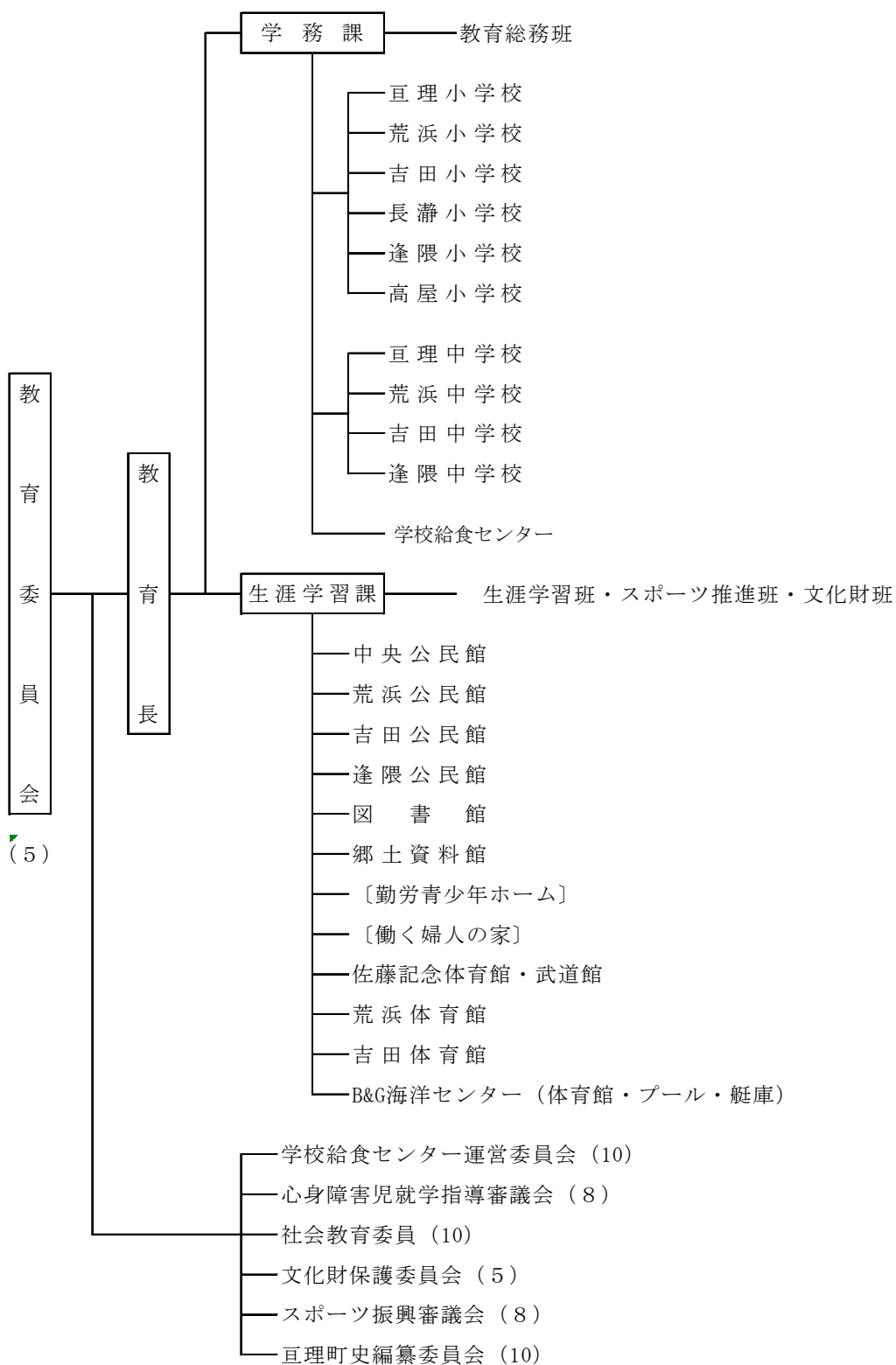
- ① 活動拠点施設の整備と全町的な芸術文化活動の推進
- ② 芸術文化団体の育成と指導者の確保
- ③ 文化財・文化遺産の保護・保存と活用の推進
- ④ 郷土の歴史と生活文化に親しむ活動の推進
- ⑤ 町史編さん事業の推進

(4) 社会体育とスポーツの振興

健全な心身の練磨と連帯意識の高揚をめざし、生涯スポーツの振興に努める。

- ① 町民総参加による生涯スポーツの振興
- ② 生涯スポーツ関係団体・指導者の育成と競技力の向上
- ③ スポーツ施設・設備等の充実と効率的活用の推進
- ④ スポーツイベント・交流事業の推進

6. 亘理町教育委員会の組織機構図 (平成25年度)



(5)

・注) () は委員数
 [] は町長からの事務委託施設

Ⅱ 【教育委員の活動状況等】

1. 教育委員会の会議の開催状況

平成25年度に開催された互理町教育委員会の会議は次のとおりです。
定例会は毎月1回行ない、必要に応じて臨時会を開催しました。

期 日	区 分	議 事 等
4月26日(金)	第1回定例会 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・報告第1号 教育委員会事務局の職員及び教育機関の職員(県費負担教職員を除く)の任免について ・教育長報告 校長・教頭合同会議で指示伝達した内容について ・教育長報告に対する質疑応答(不登校関連) ・被災3校以外の学校についての情報提供 ・学務課長・生涯学習課長からの連絡
5月23日(木)	第2回定例会 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・承認報告第1号 H24年度互理町一般会計補正予算(第12号)について専決処分の承認を求めることについて ・報告第1号 物品購入契約の締結について(H25年度互理町立荒浜小学校被災備品購入事業) ・報告第2号～報告第11号 専決処分の報告について (工事請負変更契約 10本) (内訳) ・長瀨小校舎外解体災害復旧工事 2本 ・地域交流拠点施設整備<吉田・荒浜> 4本 ・体育館災害復旧工事<吉田・荒浜> 4本 ・教育長報告 校長会で指示伝達した内容について(質疑なし) ・出席した学校行事に関する情報交換 ・指導主事訪問について ・学務課長・生涯学習課長からの連絡

6月10日(月)	第3回定例会 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 H25年度一般会計補正予算(第2号)に対する意見について ・議案第2号 学校給食センター運営委員の委嘱について ・議案第3号 心身障害児就学指導審議会委員委嘱について ・教育長報告 校長会で指示伝達する内容について ・教育長報告に対する質疑応答(教職員の事故防止関連等) ・指導主事訪問時の情報交換 ・学務課長・生涯学習課長からの連絡
7月19日(金)	第4回定例会 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・報告第1号 教育委員会事務局の職員及び教育機関(県費負担教職員を除く)の任免について ・教育長報告 ・教育長報告に対する質疑応答(児童生徒の事故等) ・プール(水泳授業)に関する質疑応答 ・学務課長・生涯学習課長からの連絡
8月30日(水)	第5回定例会 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 H25年度一般会計補正予算(第5号)に対する意見について ・報告第1～2号 工事請負変更契約2本(長瀬小・荒浜中災害復旧工事) ・報告第3号 H25年度互理町一般会計補正予算(第4号)について ・報告第4号 H26年度使用教科用図書の採択について ・教育長報告 9月校長会で指示伝達する内容について ・教育長報告に対する質疑応答(情報の管理について) ・学校訪問時の情報交換 ・学務課長・生涯学習課長からの連絡
9月25日(水)	第6回定例会 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 H25年度教育功績者表彰について ・教育長報告 10月校長会で指示伝達する内容について ・教育長報告に対する質疑応答(事故等に関連し交通安全について) ・委員長、職務代行者議席順等選出(指名推薦方式) ・指導主事訪問時の情報交換 ・学務課長・生涯学習課長からの連絡

10月28日 (月)	第7回定例会 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長報告 11月校長会で指示伝達する内容について ・教育長報告に対する質疑応答（学力・学習状況調査について） ・学力テストについて ・学習発表会等の情報交換 ・学務課長・生涯学習課長からの連絡
11月26日 (火)	第8回定例会 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 亘理町立学校の管理に関する規則の一部を改正する規則について ・議案第2号 荒浜小プール用地に取得申出について ・教育長報告 12月校長会で指示伝達する内容について（質疑なし） ・校内暴力やスマホ・ライントラブル関係について ・指導主事訪問時の情報交換 ・学務課長・生涯学習課長からの連絡
12月3日(火)	第9回定例会 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1～2号 工事請負変更契約の締結について2本（逢隈中プール・逢隈小災害復旧工事） ・議案第3号 H25年度一般会計補正予算(第7号)に対する意見について ・教育長報告 なし ・土曜授業についての意見交換 ・学務課長・生涯学習課長からの連絡
1月22日(水)	第10回定例会 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・報告第1号 工事請負変更契約の締結について（逢隈中プール災害復旧工事） ・教育長報告 ・教育長報告に対する質疑応答（学び支援コーディネーター事業について） ・「志教育」実践発表会についての意見交換 ・学務課長・生涯学習課長からの連絡
2月19日(金)	第11回臨時会 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 県費教職員の任免に関する内申について ・議案第2号 亘理町立学校の管理に関する規則の一部を改正する規則について ・議案第3号 亘理町立学校の児童生徒に係る出席停止の命令に関する要綱の制定について ・報告第1号 H25年度一般会計補正予算(第9号)について ・教育長報告 なし ・学務課長・生涯学習課長からの連絡

<p>2月24日(月)</p>	<p>第12回定例会</p> <p>協議会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 H25年度一般会計補正予算(第10号)に対する意見について ・議案第2号 H25年度奨学金特別会計補正予算(第1号)に対する意見について ・議案第3号 亘理小校舎改築に伴う用地の取得申出について ・議案第4号 H26年度亘理町教育基本方針・教育重点施策について ・議案第5号 学校給食費の改定について ・議案第6号 H26年度一般会計予算に対する意見について ・議案第7号 H26年度奨学金特別会計予算に対する意見について ・議案第8号～9号 工事請負変更契約の締結について 2本(長瀨小・荒浜中災害復旧工事) ・報告第1号～2号 専決処分の報告について2本(工事請負変更契約) (内訳) ・逢隈中プール災害復旧工事1本 ・逢隈小災害復旧工事1本 ・教育長報告 2月校長会で指示伝達した内容について(質疑なし) ・通学路関係について ・学務課長・生涯学習課長からの連絡
<p>3月25日(火)</p>	<p>第13回定例会</p> <p>協議会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 教育委員会事務局の職員及び教育機関の職員(県費負担教職員を除く)の任免について ・議案第2号 亘理町立学校医委嘱の一部変更について ・議案第3号 H25年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について ・報告第1号 県費負担教職員である校長及び教頭以外の者の任命に関する内申について ・教育長報告 3月校長会で指示伝達した内容について ・教育長報告に対する質疑応答(教職員の人事異動関係) ・卒業式の状況について ・学務課長・生涯学習課長からの連絡

2. 会議以外の活動状況

教育委員会の会議が開催される毎に、会議の終了後協議会を開催し、教育行政全般や学校を取り巻く話題などをテーマに協議し、情報の共有化と現在の教育情勢等についての知見を広げるよう努めました。

8月9日(金)には、学校訪問(荒浜中を除く町内小・中学校)を実施し、校長・教頭等との意見交換など行い、教育行政の円滑な推進を図りました。

平成25年度からは、仙台教育事務所指導主事学校訪問の機会を利用して、1校につき1～2名の教育委員も同行することとしました。(5月～11月の間に実施)今後の教育行政に寄与することを目的とし、小・中学校の児童・生徒の学習の様子等を参観しました。

入学式・運動会・学習発表会・卒業式等学校行事への出席を通して学校の状況把握、情報収集等積極的に行いました。

10月28日(月) 社会教育委員合同研修(荒浜地区交流センター・荒浜体育館・吉田地区交流センター・吉田体育館見学)を実施し、情報交換など交流を深めました。

Ⅲ 【 参 考 資 料 】

1. 平成25年度 教育費内訳 (決算)

(単位：円)

項	目	平成23年度 決 算 額	平成24年度 決 算 額	平成25年度 決 算 額
1 教育総務費	1 教育委員会費	44,185,852	58,583,718	68,027,655
	2 事務局費	85,130,843	90,363,317	94,657,745
	小 計	129,316,695	148,947,035	162,685,400
2 小学校費	1 学校管理経費	156,137,279	113,869,192	173,794,859
	2 教育振興費	42,996,480	45,343,224	46,581,616
	小 計	199,133,759	159,212,416	220,376,475
3 中学校費	1 学校管理経費	91,261,927	84,300,897	154,270,647
	2 教育振興費	41,541,472	44,410,092	46,322,451
	小 計	132,803,399	128,710,989	200,593,098
4 社会教育費	1 社会教育総務費	48,619,701	49,772,630	49,513,614
	2 公民館費	85,829,568	76,062,777	69,573,826
	3 文化財保護費	7,136,103	5,898,248	4,449,478
	4 生涯教育費	46,910	57,078	51,143
	5 図書館郷土資料館費	136,800,913	152,264,532	135,264,460
	6 復興事業費	0	2,587,444	2,725,233
	小 計	278,433,195	286,642,709	261,577,754
5 保健体育費	1 保健体育総務費	31,267,891	41,290,798	41,292,044
	2 学校給食費	256,070,792	262,025,254	253,739,805
	3 保健体育施設費	15,395,653	19,384,153	33,538,073
	4 海洋センター費	19,568,078	12,082,884	11,746,234
	小 計	322,302,414	334,783,089	340,316,156
合 計		1,061,989,462	1,058,296,238	1,185,548,883

2. 学校の状況

1 在籍児童・生徒数及び学級編成

(1) 小学校

(平成25年5月1日現在)

学校名	1年		2年		3年		4年		5年		6年		特別支援		計	
	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級
亘理小	148	5	103	3	119	3	133	4	118	3	132	4	13	4	766	26
荒浜小	14	1	23	1	18	1	24	1	29	1	22	1	1	1	131	7
吉田小	15	1	21	1	23	1	18	1	25	1	28	1	1	1	131	7
長瀬小	26	1	29	1	28	1	35	1	34	1	41	2	2	2	195	9
逢隈小	81	3	83	3	92	3	81	3	105	3	101	3	10	2	553	20
高屋小	8	1	5	1	10	1	8	1	11	1	11	1	2	2	55	8
計	292	12	264	10	290	10	299	11	322	10	335	12	29	12	1,831	77

(2) 中学校

(平成25年5月1日現在)

学校名	1年		2年		3年		特別支援		計	
	生徒数	学級	生徒数	学級	生徒数	学級	生徒数	学級	生徒数	学級
亘理中	137	4	146	4	165	5	9	4	457	17
荒浜中	34	1	27	1	33	1	1	1	95	4
吉田中	32	1	40	1	40	1	3	2	115	5
逢隈中	110	3	97	3	109	3	3	2	319	11
計	313	9	310	9	347	10	16	9	986	37

2 児童・生徒数の推移

(各年5月1日現在比較)

区分	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25
児童数	2,083	2,129	2,126	2,069	2,030	2,061	2,046	1,908	1,857	1,831
生徒数	1,162	1,085	1,086	1,055	1,093	1,070	1,028	989	989	986
合計	3,245	3,214	3,212	3,124	3,123	3,131	3,074	2,897	2,846	2,817

IV 【 重点的な事務及び事業等の 点検及び評価のシート 】

.....

(1) 学校教育の充実

{ 町立小・中学校 編 }

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 ① 基礎・基本の習得と活用力の育成	【担当班等】 亘理町立 逢隈中学校
【重点施策の項目等】 (1) 学校教育の充実・・・ア 創意ある教育課程の編成 ① 基礎・基本の確実な習得と定着及び活用力の育成	
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】	
事業の概要 各教科において基礎・基本を習得し定着させる指導を継続し、考えを深めさせる場面の設定を工夫して活用力の育成を図る。	
実施状況	
家庭学習の継続的な指導	家庭での自主学習ノートを「教科強化ノート」と称し、毎日提出させることで、学習習慣の定着を図っている。
放課後の補充学習の実施	学期に数回「学習優先の日」を設定し、生徒の実態に応じた補充学習を全校体制で放課後に実施している。
考える力を育てる授業の研究	思考力・判断力を養うために、発問や指示の工夫を図る等、効果的な授業形態を模索しながら、授業を進めている。
成果と課題等	
校内学習委員会をはじめ全教職員が関わり毎日提出させている「教科強化ノート」により、家庭学習を行う生徒が増え自主学習の習慣が身につくようになってきた。 また、放課後において全校体制で補充学習を行う「学習優先の日」を各学期に数回計画実施した。生徒の実態に応じてプリントを準備したり、一人一人の学力に応じた個別指導を繰り返し行った他、毎日繰り返し家庭学習に取り組みさせたことによって、基礎・基本の定着が図られる効果が生まれてきている。 他に校内研究においては、「思考力・判断力を養うための効果的な授業形態並びに発問や指示の工夫」を主な視点として授業改善に取り組み、習得した知識・技能を活用する場面（考える力を育てる場）を授業に取り入れることにより、基礎・基本のさらなる定着が図られてきている。 過去の全国学力・学習状況調査の結果によれば、本校生徒は「思考・判断」の分野が全国平均と比べて幾分劣っているものの、毎日の授業の場面においては、勉強を大切と捉え知識・理解が定着している生徒が多い。課題として、知識・技能を自分なりに活用して考察する能力はやや低い傾向が見られるので、知識・技能を活用する力や、説明や証明したりする力を向上させるために、さらなる指導の工夫を積み重ねていきたい。	
【学識経験者の意見等】	
家庭学習や補充学習の継続及び授業改善により、基礎・基本の定着が図られたことを高く評価したい。 進学・就職を目前に控えた中学生にとって、全校体制で全教職員一丸となって推進していることが、大きな成果を上げている。 ただし、このことが教職員の過度の負担になり、健康を害することのないよう配慮してほしい。	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 ② 学習の習慣化による学力向上	【担当班等】 亘理町立 吉田小学校
【重点施策の項目等】 (1) 学校教育の充実・・・ア 創意ある教育課程の編成 ② 学習習慣の確立と主体的学習による学力向上の推進及び体験学習の充実	
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 事業の概要 授業と連結を図る家庭学習を習慣化させることにより、児童一人一人の学力向上を図る。 1 CRT（国語、算数）の実施、分析による個に応じた学習支援 2 放課後の補習学習「すくすくタイム」の実施による個別指導 3 家庭学習のしおり「吉田っ子の学び」の配付による家庭学習方法の周知 4 個人評価カード「ふりかえる君」の活用による家庭との連携 注) CRT: Criterion Referenced Test 標準学力検査/目標基準準拠検査 学習指導要領に示された基礎的・基本的な内容の到達状況を、適切に把握できるように作成された、学力検査です。「確かな学力の育成」という立場に立ち、特定の教科書に準拠することなく作成されていて、「基礎的・基本的な学力」が測定できます。	
実施状況 本校においては、CRTを実施し児童の学習状況の定着や習熟の程度を把握し、学力向上のため児童一人一人に応じた学習支援の方向性や手立ての基礎資料として利用している。さらにその内容を保護者にも配付し家庭学習の重要性等について周知を図っている。 また、放課後の補習学習「すくすくタイム」を実施し、児童一人一人の抱えている学習課題に対し、個別の支援や指導を行い、基礎的・基本的な学習内容の定着を図っている。 家庭においては、CRTの結果や分析内容をもとに、学年の実態に合わせた家庭学習のしおり「吉田っ子の学び」を参考に、宿題や自主学習に取り組ませている。さらに、家庭生活についての個人評価カード「ふりかえる君」を活用し、家庭との連携を図りながら家庭学習の習慣化も図っている。	
成果と課題等 毎年積み重ねてきたCRTの結果から、また、全国学力・学習状況調査の国語A・算数A問題の正答率などからも、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られていることが見て取れる。 これは、授業で学習したことを家庭で反復学習する習慣化が図られてきたことによる成果であると考えている。 今後は、応用的問題や活用的問題への対応力を高めるための学習指導にも、力を入れていきたい。	
【学識経験者の意見等】 学力の向上を図るうえで、家庭学習の習慣化は不可欠である。これまで宿題という形で、教師個人個人の創意工夫・努力によって図られてきたが、教師の力量と熱意によりその効果はまちまちであった。その意味では、一人一人のCRTの結果や分析内容を、家庭と共通理解しながら学力向上に向けて取り組んだことで、大きな成果を上げている。	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 ③ 志（こころざし）教育 【 小学校 】	【担当班等】 亶理町立 亶理小学校
【重点施策の項目等】 (1) 学校教育の充実・・・ ア 創意ある教育課程の編成 ③ 規範意識を大切にしたい心の教育及び「志教育」の推進	
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 <u>事業の概要</u> 次の目的・目標に沿って志教育の活動に取り組む。 (研究主題) ～自立的に自分の未来を切り拓く力の育成～ 夢と希望をもって学ぼうとする子どもの育成（2年計画の1年目） (目指す児童像) 夢と希望をもち、その実現へ向けて勉強したり生活したりすることができる児童 (研究目標) 将来、自立的な社会人・職業人となるために発達させるべき能力・態度があるという考えに立ち、各学年で取り組むべき発達課題を明らかにし、それらを日々の教育活動を通して達成させる。	
<u>実施状況</u> 1 「志教育の授業」を校内研究の主要課題ととらえ、担当教員が主導し主に道徳の時間を使った授業を展開し、また、あいさつの励行など生活面での指導も行った。 2 各学年で計画した志教育のカリキュラムを実施し、全校授業研究・学年部授業研究を行った。（全担任及び志教育担当教諭が授業研究を行った。） 3 具体的に授業で取り上げた課題としては、有名なスポーツ選手や歴史上の偉人を例にとり、夢を持ちそれを実現するための心のあり方や努力の必要性について、グループ内で考え話し合わせながら、学習させた。	
<u>成果と課題等</u> 1 あいさつが定着し、「ポカポカことば」（相手にとって気持ちの良い言葉）を使うことでコミュニケーションがスムーズにいくことを理解する児童が増えた。 2 自分の夢と現在の学校生活に、強い関連があることを意識させることができた。 3 担任がともに授業研究することで、教職員の志教育に対する関心が高まったことで、次年度には校内研究の柱となるに至っている。	
【学識経験者の意見等】 「向こう三軒両隣」といった横のつながりが乏しく、「〇〇ハラメント」や通り魔による事件等、弱者に対する攻撃が頻発している今日、「志教育」は時宜に合ったものである。 全校挙げて、その志教育の事業に取り組んだ教職員の熱意に敬意を表す。次年度の校内研究の成果が楽しみである。	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 ④ 志（こころざし）教育 【 中学校 】	【担当班等】 亶理町立 亶理中学校
【重点施策の項目等】 (1) 学校教育の充実・・・ ア 創意ある教育課程の編成 ③ 規範意識を大切にしたい心の教育及び「志教育」の推進	
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 <div style="margin-left: 20px;"> 事業の概要 人間としての自己の在り方・生き方について社会との関わりを通して追求し、健全な勤労観や職業観を形成し、学校生活を中心に自らの役割を主体的に果たし、夢の実現に向けてよりよい生き方を求める生徒の育成を図る。 </div> <div style="margin-left: 20px; margin-top: 10px;"> 実施状況 ①人と「かかわる」、②よりよい生き方を「もとめる」、③社会での役割を「はたす」、この三つの視点を基にして、教科指導・学級活動・道徳・総合的な学習の時間・各種の行事等において実践している。 生徒たちに日々目指すものをもった生活をおくらせようと、目標をたて日記形式でこれを振り返るレコーディング活動を全校生徒が毎日実施している。志教育に係る主な行事としては、1学年は農業体験（1泊2日）、2学年は職場体験（2日間）、3学年は修学旅行（2泊3日）があり、人との関わりや生き方について意識をもって行動させるように指導している。 また、町内全小中高校が連携して月1回一斉に行うマナーアップキャンペーンを事務局校として推進し、駅や街頭でのあいさつ運動、通学路のクリーン活動、自転車のマナーアップの呼びかけを行い、各校各年代の連携強化と地域に貢献していこうとする態度を育成している。 さらには、小中高校生の代表が集まり話し合う「わたり子どもサミット」を開催し、相互の連携強化を図っている。 </div> <div style="margin-left: 20px; margin-top: 10px;"> 成果と課題等 1 この活動を繰り返すことで、小中高生として実際に町や地域に貢献する取り組みに積極的に参加していけるようになってきている。 2 あいさつが定着し、集会時の整列が早くなるなど生活態度が向上している。 3 郡陸上大会での全校一丸となつての応援活動や、生徒会執行部を中心とした生徒の行事への活発な取組など、学校生活全般について前向きで健全になっている。 4 自分の進路に対する関心が高まり、資格取得のため英語検定や漢字検定を受験する生徒が大変増えた。（全校生徒の内、英検 31%、漢検 47%の生徒が受験した。） 5 地域への関わりや貢献等については、本校も他の町内10校も、定着のためにさらなる連携・継続と児童生徒への意識づけに努める必要がある。 6 自分の進路や夢を実現する手段として、学力向上に一層取組ませる必要がある。 </div>	
【学識経験者の意見等】 三つの視点を基に、様々な手立てにより学校教育全体で、志教育に取り組んでいる様子うかがえる。今後も自分の進路や夢の実現に向けて生徒がより主体的に取り組んでいけるよう指導をお願いしたい。 また、小学校で学んだ「志教育」を中学校で更に継続発展させていくことは、すばらしいことでこれに勝るものはない。亶理小と亶理中の両校で、波及効果が期待できるよう互いに連携を取り合いながら進めてほしい。継続は力なりである。	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 ⑤ 体力向上・健康増進と安全教育	【担当班等】 亘理町立 高屋小学校
【重点施策の項目等】 (1) 学校教育の充実・・・ ア 創意ある教育課程の編成 ④ 体力・運動能力の向上及び健康増進と安全教育の推進	
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 事業の概要 1 年間を通した外遊びの励行、全校業間持久走やなわ跳びでの体力づくり 2 学校・家庭における日常の歯磨きの励行 3 安全教育の推進 実施状況 1 毎週木曜日の業間を全校持久走の時間に設定し、自分の体力に合わせて校庭を走っている。廊下に掲示した宮城県の地図上を「3周走ったら一つ進む」というような目安で自分の旗を進めながら、「めあて」を持たせることや意欲を高める工夫をしている。雨天時は体育館でなわ跳びを行い、体力向上に努めている。 2 学校で毎日給食後、教室で歯磨きを行っている。長期休業期間は家庭への啓発とチェック表の配付をし、指導の継続化を図っている。 3 年間3回行う集団下校訓練の中で、児童が「子ども110番の家」の住民を訪問したり、通学路の危険箇所を確認したりして、安全な通学について指導を行っている。 成果と課題等 1 休み時間には、ほとんどの児童が校庭に出て遊んでおり、それが体力向上にもつながってきている。業間の持久走では、「めあて」をもって取り組む児童が増え、友達と互いに競い目標を持ちながら持久走やなわ跳びに積極的に取り組む姿が見られるようになった。 2 本校の児童に必要な体力を向上させるための運動に取り組ませようと試みているが、教師の意図と児童の興味・関心が異なる場合もあり今後工夫が必要な点である。	
【学識経験者の意見等】 遊びにより、楽しく体力づくりを行っていることは、人間関係づくりにもプラスになっていると思う。 何をするにも理解と自覚がなければ前には進めないもの。教師の意図することをいかに児童に分からせ興味・関心を抱かせるかが、最も留意すべきことと思う。時には児童にも考えさせその考えを取り上げて、実施してみることもあっていいのではないか。 今後、教科体育の充実の視点からの実践を加え、一層体力の向上を図ってほしい。	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 ⑥ 災害体験の伝承と防災教育	【担当班等】 亘理町立 荒浜小学校
【重点施策の項目等】 (1) 学校教育の充実・・・ア 創意ある教育課程の編成 ⑤ 災害体験の伝承と防災及び復興教育の推進	
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 <u>事業の概要</u> 1 東日本大震災の被災校として、貴重な災害体験や避難中の対処を伝承していく。 2 災害別防災訓練の実施、危険察知能力の向上、危機回避能力の育成などについて、児童を指導しその体験をしっかりと根づかせていく。 3 各種研修会やセミナー等の機会をとらえ、本校教職員により災害の実体験を発表発信していく。	
<u>実施状況</u> 1 災害から自らの命を守る能力を高める防災教育の一環として次の行事を行った。 ① 4月 地震・津波・火災が複合的に発生した場面を想定した避難訓練 ② 9月 危険個所点検マップづくり（5年生） ③ 9月 ミニ防災訓練1（事前に子供たちに避難行動を考えさせた訓練） ④ 11月 ミニ防災訓練2（緊急地震速報を活用した避難訓練） ⑤ 1月 ミニ防災訓練3（防災学習カードを用意し、指示なしの避難訓練） ⑥ 2月 防災教育推進研修会（町防災計画見直しに伴う全学校参加の会議） ※本校防災主任より荒浜小の防災教育について事例発表した。 2 災害から自らの命を守る能力を高めるため、各種の災害の際にどのような行動を取ったらよいか考えさせる授業を、3～6年生に各2～4時間程度行った。 3 管内の教育課程研修会において、荒浜小学校における防災教育についての発表を行い、防災教育の計画立案のそれぞれの参考としてもらった。 また、他の自治体や教育委員会等にも招かれ、被災の実体験についての講話を行い、今後の防災教育等に役立ててもらった。	
<u>成果と課題等</u> 1 東日本大震災の体験から、災害に関して語ることへの嫌悪感や恐怖心が根強く残っていることが一部の児童に見られたが、防災教育への理解が深まるにつれて、子どもたちに「しっかりした対処をすれば、災害は乗り越えられる。」との認識が生まれてきている。各種防災訓練の工夫改善や、防災教育の充実を図るよう努めていきたい。 2 どのような大災害でも、時間の経過とともに被災の記憶や印象はうすれていくものだが、あらゆる機会を通じて貴重な経験を発信し続けていきたい。	
【学識経験者の意見等】 職員と児童が一体となって防災教育に取り組み、大きな成果を上げられているとことで大変喜ばしい。被災校としての体験を基に防災教育について発信することは、今の日本にとり今日的課題の解決につながる。全国的にも注目されるものであり、大変先進的で意義深い。 高く評価したいが、課題にあるように、被災体験を持つ児童や職員が減少していくこの数年が重要になる。「マニュアル」は、時として硬直化し、形骸化し、惰性に繋がる危険を併せ持つ。今後とも、一校のみにとどまらず、町当局、関係機関と連携を密にしながら緊張感を持って取り組んでほしい。	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 ⑦ 地域に即した農業体験学習	【担当班等】 亘理町立 吉田小学校
【重点施策の項目等】 (1) 学校教育の充実・・・イ 創意に満ちた学校経営 ① 地域に即した特色ある学校経営の推進	
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 <u>事業の概要</u> 地域と連携して農業体験ができる学習を行い、本校が所在する吉田地域を身近に感じ、そしてより深く知ることができる場を子どもたちに提供する。 <u>実施状況</u> 平成25年度は、次の授業を展開した。 1 <u>第3学年 リンゴの栽培学習</u> リンゴの栽培学習は、リンゴ栽培農家から授粉、摘果、収穫の各作業について指導を受け、栽培学習を行った。また、収穫したリンゴを材料とした料理を親子学年PTA行事として一緒に作り、栽培活動の様子や学習した内容について親子で話し合う機会を設けた。 2 <u>第4学年 大豆の栽培学習</u> 大豆の栽培学習は、近くに栽培畑を持つ農家から現地で説明を受け、苗から緑の枝豆にそして黄色く枯れて大豆になる様子を長く観察したりして、理科における植物が成長する課程も学習させることができた。 3 <u>第5学年 水稲の栽培学習</u> 水稲の栽培学習も、稲作農家の方から指導を受け3年生と同様な活動を実施し、水稲の栽培に水が大切であることや自然環境を守る重要性も学習し、学習内容について理解を深めることができた。 また、収穫したお米は地域の学習ボランティアにお礼として配付した。 <u>成果と課題等</u> 地域の農家等の学習ボランティアから支援を受け学習したことにより、吉田地域の自然の豊かさを体験をとおして実感したことが伺える。また、観察により作物の成長過程についても理解が深まった。 今後は、栽培についての農家の苦労や、自然環境の保全などについても学習を展開し、次のステップに進ませることや、家庭内での親子の会話のきっかけとなるような話題づくりもできるよう指導を工夫していきたい。	
【学識経験者の意見等】 地域と連携した農業体験学習は、吉田小の伝統ある教育活動として継続発展してきているもので、地域の良さ、豊さを知り、地域に誇りを持つ子どもたちに育ってきていることは、大変素晴らしいことと思う。 ここで培った成果をそろそろ地域に還元していくことも考えていかれれば良いと思うので、今後の学習の一層の発展を期待したい。	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 ⑧ 地域に開かれた学校づくり	【担当班等】 亘理町立 長瀬小学校
【重点施策の項目等】 (1) 学校教育の充実・・・・イ 創意に満ちた学校経営 ② 家庭、地域社会に開かれた学校づくりの推進	
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 <u>事業の概要</u> 学校が地域の核となるよう「地域に開かれた学校」を目指し、地域住民の協力を得ながら、授業や学校行事によって積極的な交流を実施していく。 <u>実施状況等</u> 1 授業に関して ① 保護者及び地域の有志が、読み聞かせボランティアとして来校し、国語の授業での読み聞かせを実施している。(各学年とも年間10時間程度) ② 4年生の総合的な学習の時間において、地元のいちご農家に講師になってもらい、ハウス見学・いちご摘みなどの体験をとおした学習を実施している。 ③ 東日本大震災による大津波で壊滅的な打撃を受けた防潮林を、新しい森に復活させる活動を行っている「わたりグリーンベルトプロジェクト」のメンバーに講師になって頂き、防潮林が地域を守っていることなど、その重要性について学習を行った。 2 地域活動に関して ① 吉田婦人会により、学校敷地内の花の世話をしている。 ② 地域の「みまもり隊」の皆様から、登下校時の見守りをして頂いている。 ③ 吉田東部地区まちづくり協議会より学校行事へ積極的に参加して頂いている。 <u>成果と課題等</u> 「地域に開かれた学校」を目指し、地域の皆様と積極的に交流するように努めてきた結果、東日本大震災後も学校に関わってくださる方が増加してきている。地域の学校を愛し「子どもたちの力になりたい。」という住民の想いが、各活動の中で伝わってきた。 この取り組みを活かし地域社会の力を借りながら継続して、更なる「地域に開かれた学校」を目指した学校づくりを推進していきたい。	
【学識経験者の意見等】 「地域に開かれた学校づくり」が、着実に実を結び、ボランティア精神の豊かな地域で、人々に見守られ安心して学習に取り組んでいる様子がかがえ大変に良い。 これからは、「地域とともに歩む学校」も念頭に、地域に飛び込み、地域に学び、地域に貢献していく形が、少しでも取り入れられればよいと思う。 今後も、地域との交流を大切に学校づくりに励んでほしい。	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 ⑨ 学力向上に向けた取り組み	【担当班等】 亘理町立 吉田中学校
【重点施策の項目等】 (1) 学校教育の充実・・・イ 創意に満ちた学校経営 ③ 教職員の研修の充実と学校評価を通じた創造的な学校経営の展開	
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 事業の概要 1 生徒に基礎学力を身につけさせるため、学習の方法を工夫した取り組みを行う。 2 生徒の学力向上のために、教師についても授業力を高めていく取り組みを行う。	
実施状況 1 文部科学省主催の全国学力・学習状況調査の結果、本校の生徒については基礎学力不足の傾向が見られた。そのため次のような取り組みを行った。 ① 朝のモジュール学習(※1)や補充教材を利用したT学習(※2)に取り組みせ基礎学力の向上に努めさせた。 ※1：モジュール学習とは、10分、15分などの時間を単位として、取り組む学習形態である。 ※2：T学習とは、数学の学習法で補充教材により、繰り返し課題に取り組む学習形態である。 ② 自主学習のためのノート「チャレンジノート」に、教師からのアドバイスも入れて毎日取り組みせ、家庭学習の習慣を身につけさせるようにした。 2 平成24年度の学校評価において、「生徒の学力を高めるためには教師の授業力をさらに高めていく必要がある。」という反省が出たため、平成25年度の校内研修による研究テーマに基づいて各教科の指導のねらいを明確にし各教科毎に実践した。	
成果と課題等 1 補助教材を使用したT学習については、採点作業が大変な面もあるが、生徒の数学の基礎学力が向上しているように感じられるようになった。今後は、時間をかけて生徒に家庭学習の習慣をつけさせたい。 また、夏休みや冬休みなどに学生ボランティアの協力を得るなど工夫して、校内学習会を開き、学習から長期間遠ざかることのないよう、良質な学びの場を提供していきたい。 2 平成25年度の状況から、次年度は、各教科毎の取り組みだけでなく、教員全員で授業検討会や研修会を行い、成果や反省点を共有する体制を整えていきたい。	
【学識経験者の意見等】 基礎学力向上を目指して、日常的、継続的に学習に取り組みせ成果を上げている。 また、前年度の学校評価を基に、授業実践に取り組んだこともすばらしい。 ただ、成果と課題の1について教師の負担が大きく、過労にも繋がりがねず心配もある。教師が無理なく取り組めるような工夫もしてほしい。	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 ⑩ 「心のケア」支援の推進	【担当班等】 亘理町立 荒浜小学校
【重点施策の項目等】 (1) 学校教育の充実・・・ウ 学習環境の充実と学習活動支援体制 ① 児童生徒への「心のケア」の継続的支援の推進	
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 <u>事業の概要</u> 1 東日本大震災での被災体験をふまえ、児童の心の状態の適切な把握に努める。 2 校内に「心のケア」につながる空間を確保し、児童が安心安全に過ごすことのできる場にして活用する。 3 保護者、地域、関係機関との連携を充実させ「心のケア」への理解を深める。 <u>実施状況</u> 1 児童を対象に心の状態に関するアンケートを行い、結果をスクールカウンセラー（SC）と教職員とで共有しSCからのアドバイスを児童理解や対応に生かした。 2 遊具の新設、図書室「夢の図書館」の開設等を行い、児童が落ち着いて過ごす場の充実をはかった。また、2階中央のホールを児童主導で「希望ホール」と命名し、全校での集会や、雨天時の活動場所として活用している。 3 「学校地域連携推進事業」（仙台教育事務所主催）では、保護者対象にリラクゼーションについての研修を行い、大人の心のケアの重要性について学んだ。 4 SCを交えての「子どもを語る会」を年8回実施し、児童の情報を共有して全員で児童を見守るとともに、専門的な知識を学ぶことで児童理解が深まった。 <u>成果と課題等</u> 1 児童を理解するための取り組みの充実により、児童の気持ちも落ち着きつつあるが、今後とも心のケアを重視した支援、個別指導を継続していく必要がある。 2 「子どもを語る会」の定期的な開催により、SCの専門的な知識を教育活動全体に生かすことができるようになった。 3 保護者、地域、関係機関との密接な関係を築き、さらに連携を深めることで、多様な方法により「心のケア」にあたっていきたい。	
【学識経験者の意見等】 つらい被災体験を踏まえ、児童理解に努め、心のケアのため様々な方策に取り組んでいることに敬意を表したい。 今、子どもに限らず大人についても「心のケア」が必要とも言われている。何よりも一番心しなければならないことは、該当児童を孤立させないことであり、そのためにはいつでも対応できる心安らぐ場とSCが必要である。 その点、荒浜小はその環境が整っているので、大いに期待している。今後の実践にも期待したい。	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 ① 特別支援教育の推進	【担当班等】 亘理町立 吉田中学校
【重点施策の項目等】 (1) 学校教育の充実・・・ウ 学習環境の充実と学習活動支援体制 ② 教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進	
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 <div style="margin-left: 20px;"> 事業の概要 1 生徒及び保護者のニーズに応える就学指導を実施する。 2 生徒の特長に応じて、協力学級への通級(※)の工夫を行う。 ※ 通級とは、各教科等の指導は主として通常の学級で行い、個々の障害の状態に応じた特別支援教育を受けることの出来る制度。 </div> <div style="margin-left: 20px; margin-top: 10px;"> 実施状況等 1 平成25年度の本校の特別支援学級は、知的学級1、情緒学級1の2学級で計3名の在籍であったが、進学についての希望などそれぞれのニーズが異なり、一人一人に手厚い指導を行うため、スクールカウンセラー、山元支援学校の地域コーディネーター、町福祉課担当者など外部機関と連携して生徒の能力と適性を見極め、さらに進路情報も把握したうえで、校内の就学指導委員会において対応を協議した。 2 本校においては、特別支援学級で個別に授業を受けるだけでなく、通常学級の生徒と一緒に受けられる教科については、保護者と相談の上で通級させているが、その際、特別支援教育支援員や教員が、教室内の二人目の教師として授業に加わり、生徒の学習を支えている。また、評価の仕方については、担当教員間で相談のうえ生徒の学習状況に応じた評価をしている。 </div> <div style="margin-left: 20px; margin-top: 10px;"> 成果と課題等 1 通常学級においても、特別に支援を必要とする生徒がおり、本人の状況を把握し保護者と相談を行ってきた。生徒の実態について保護者と話し合う中で、生徒にとって一番ふさわしい学習環境は何かを模索しながら、速やかに対応できるよう努めていきたい。 2 特別支援学級に所属していると言っても、より専門的な支援を受けるため特別支援学校に進学する場合や、普通高校へ進学する場合など、その進路についても多岐にわたっており、本人のニーズに答えるためにも、補助教員の確保などの課題もあるが、多くの授業を協力学級で受けさせるなど工夫して取り組みたい。 </div>	
【学識経験者の意見等】 関係機関と連携し、全校体制でニーズに応じた特別支援教育を推進していることに敬意を表したい。 特別支援教育を推進する上で最も重要なことは、障がいを持つ生徒と担任教師に対する周りの生徒と教職員の理解と支援である。その支えがあってこそ打つ手の一つ一つが効果を上げるものと思う。 ただ、得てして担任は孤立しがちであるので、その点にも配慮してほしい。 今後も一人一人の進路を見極めた支援をお願いしたい。	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 ⑫ 学校教育施設 管理整備事業	【担当班等】 亘理町立 荒浜中学校
【重点施策の項目等】 (1) 学校教育の充実・・・ウ 学習環境の充実と学習活動支援体制 ③学習環境の整備充実と適切な管理運営	
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 事業の概要 1 校内掲示物を利用した作成・展示などの学習の推進や、校内の掲示板やポスター、生徒に配布する印刷物において、適切な話し言葉や文字が用いられよう用語や文字を適正に使用する言語環境の整備充実を図り、ひいては自主・自立を育てる教育活動を推進する。 2 DVD等の視聴覚教材を有効的に活用することによって、特に理科・社会・総合学習において、生の画像を用いた学習等により、生徒の興味・関心や理解を深める授業の構築を目指す。	
実施状況 1 生徒各人に目標を立てさせ、それに向かって努力していけるよう掲示物にしたり、学級新聞や競技大会での決意表明・記録などを、生徒が自ら取材・編集・掲示している。 2 DVDや写真など校内にあった視聴覚用機器や教材の使用方法等について見直しを行い、授業でより活用できるよう取り組んだ。	
成果と課題等 1 掲示物を用いた教育については、生徒の活動の様子や校内連絡資料等の掲示が効果的になされ校内の環境整備の一助にもなっており、生徒が主体的に活躍できる貴重な場ともなっているため、今後はさらに教員の分掌上の役割分担や経営方針等にも記載するなど、校内での位置づけをより明確にする取り組みも進めていきたい。 2 図書や映像を活用する研修に努めた結果、新しい指導法を試みたり問題解決的な指導法を取り入れたりして授業改善を行った結果、学習意欲が高まってきている。	
【学識経験者の意見等】 生徒自らの手で掲示物の整備をしたり、教師が授業改善に取り組んだりした結果、学習意欲が高まったことはすばらしい実践である。 今後とも生徒の考えも取り入れながら、生徒、教師がともに喜びを分かち合えるよう更なる工夫改善と、生きた学習環境の整備に努めてほしい。	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 ⑬ 安全指導と食育の推進	【担当班等】 亘理町立 高屋小学校
【重点施策の項目等】 (1) 学校教育の充実・・・ウ 学習環境の充実と学習活動支援体制 ⑤ 児童生徒の安全指導の徹底と食育の推進	
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 <u>事業の概要</u> 1 交通安全や健康管理につながる、点検や安全指導を実施していく。 2 毎月安全点検を行い、児童が安全で安心して活動できる環境の整備していく。 3 学校給食センターと連携して食育の推進を図る。 <u>実施状況</u> 1 毎月1日を安全の日と定め、校舎内外の施設・設備等の安全点検を全教職員で行い、安全な環境の中で児童が健やかに活動できるよう努めた。また、同じ日に通学時の安全を助ける防犯ブザーの点検を児童一人一人に行い、いつでも防犯ブザーが使えるよう、毎月確認を実施した。 2 給食センターの栄養士や栄養教諭による食に関する指導を全学年で実施している。1学年は親子で給食試食会を行い、給食に対する保護者の理解を深めると共に、バランスのよい食事について給食センター職員より講話をしてもらっている。 <u>成果と課題等</u> 1 定期的な安全点検や防犯ブザー点検により、教師・児童の安全に対する意識を継続して高めていくことができた。 2 食に関する指導により、「好き嫌いをしないで食べること」や「栄養のバランスを考えて食べる」ことを意識する児童が増えてきた。また、給食試食会や栄養士等による講話などとおして、保護者にも学校給食のメニューが児童の健康を第一に考えて作られていることなどについて、理解が深まっている。 3 今後は、児童自らが安全な生活や健全な食生活について、進んで実践していこうとする態度が育まれるよう、さらに工夫した指導に努めたい。	
【学識経験者の意見等】 食と安全は人間が生きていくうえで最も重要なものの一つであり、学校給食センターとの連携による食育の推進は、大変有効である。 食と安全について、親の理解の度合いと行動は、子どもに与える影響が大きい。保護者を巻き込んでの高屋小の取り組みに期待する。 安全指導については、学級活動での実践もまとめておいたらどうかと思う。	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 ⑭ 逢隈小サマースクール 2013	【担当班等】 亘理町立 逢隈小学校															
【重点施策の項目等】 (1) 学校教育の充実・・・ウ 学習環境の充実と学習活動支援体制 ⑥ 児童の健全育成に関する関係機関との連携																
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 <div style="margin-bottom: 10px;"> 事業の概要 長期的な被災地支援を検討していた宇都宮大学との連携を中心に、松島自然の家、逢隈地区体育振興会、逢隈地区まちづくり協議会のご協力を得て、夏休みの後半に3日間、学習会や野外クッキング、ワークショップ（ダンス、ニュースポーツ、編み物等）を行うことにより、夏休み中の学習の機会を確保したり児童の体験活動の充実を図る。 </div> <div> 実施状況 平成25年度は120名の児童が参加した。また、同年度に初めて保護者のプログラム（心理学入門、ダンス）を開講し、のべ24名の保護者が参加した。活動プログラムは次のとおりである。 </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 25%;">8月21日（水）</th> <th style="width: 25%;">8月22日（木）</th> <th style="width: 35%;">8月23日（金）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">午前の部</td> <td>学習会① 保護者講座①</td> <td>学習会② 保護者講座②</td> <td>学習会③</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">お昼の部</td> <td>流しそうめん</td> <td>手造りピザ</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">（終了）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">午後の部</td> <td>〈ワークショップ〉 ・ニュースポーツ</td> <td>・自然と遊ぼう ・指編み</td> </tr> </tbody> </table>			8月21日（水）	8月22日（木）	8月23日（金）	午前の部	学習会① 保護者講座①	学習会② 保護者講座②	学習会③	お昼の部	流しそうめん	手造りピザ	（終了）	午後の部	〈ワークショップ〉 ・ニュースポーツ	・自然と遊ぼう ・指編み
	8月21日（水）	8月22日（木）	8月23日（金）													
午前の部	学習会① 保護者講座①	学習会② 保護者講座②	学習会③													
お昼の部	流しそうめん	手造りピザ	（終了）													
午後の部	〈ワークショップ〉 ・ニュースポーツ	・自然と遊ぼう ・指編み														

(1) 学校教育の充実

{学務課 編}

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 ⑮ 外国語指導助手配置事業	【担当班等】 学務課 教育総務班				
【重点施策の項目等】 (1) 学校教育の充実・・・ ア 創意ある教育課程の編成 ① 基礎・基本の確実な習得と定着及び活用力の育成 ② 学習習慣の確立と主体的学習による学力向上の推進及び体験学習の充実					
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 事業の概要 各小・中学校に外国語指導助手を派遣し、中学校における外国語指導の充実を図るとともに、小学校での外国語活動及び国際理解教育の振興を図る。					
実施状況 外国語指導助手の派遣を民間業者2社に委託し、各小中学校における指導計画等に基づき派遣している（小学校1名、中学校2名）。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">小学校外国語指導助手業務委託料</td> <td style="text-align: right;">4,375,770 円</td> </tr> <tr> <td>中学校外国語指導助手業務委託料</td> <td style="text-align: right;">6,106,305 円</td> </tr> </table>		小学校外国語指導助手業務委託料	4,375,770 円	中学校外国語指導助手業務委託料	6,106,305 円
小学校外国語指導助手業務委託料	4,375,770 円				
中学校外国語指導助手業務委託料	6,106,305 円				
成果と課題等 1 外国語に慣れる、生の外国語を聞くという点においては、児童生徒に定着してきており一定の成果を挙げてきている。 2 派遣期間の制限や委託契約の業務内容等の契約条件について、契約担当課及び派遣・委託業者と連絡を取りながら、適正な契約に努めていく。 3 学習指導要領の改定により、小学校での外国語活動、中学校での外国語の授業時間数の増加や今後の社会のグローバル化の進展を考えると、外国語指導助手として優秀な人材を確保することが重要であることから、希望にそった人材の確保について業者との連携を図るとともに、強く要望していく。					
【学識経験者の意見等】 A L T（外国語指導助手）の生の英語に触れることにより、生徒たちのヒヤリングや発音に格段の上達が見られる。小学校にも「英語」が教科として導入されるという今日、より一層希望にそえる人材を確保することが求められている。 人材の確保が計画通り進められるよう努力をお願いしたい。					

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 ⑩ 小中学校情報教育事業	【担当班等】 学務課 教育総務班
【重点施策の項目等】 (1) 学校教育の充実 ア 創意ある教育課程の編成 ① 基礎・基本の確実な習得と定着及び活用力の育成 イ 創意に満ちた学校経営 ③ 教職員の研修の充実と学校評価を通じた創造的な学校経営の展開	
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 <u>事業の概要</u> 情報を扱う能力を高めることによって、児童生徒が情報社会の中で主体性や創造性を発揮できるようになることを目的とし、課題や目的に応じて情報手段を適切に活用することを含めて、必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる能力を養う。 <u>実施状況</u> {小学校} 1 低中高の学年に応じて情報機器に慣れ、多様な情報の中から必要な情報を主体的に選択・活用する体験やメディアを多様に活用する体験をとおして、情報の扱い方の基本を習得させることを重点的に行った。 2 便利な反面、危険な面があることを認識させることにも力を注いだ。 3 情報機器やメディアは道具としての手段であることを認識させる必要がある。 {中学校} 1 小学校での経験を発展させ、生徒の興味・関心に応じて選択的に履修できる発展的な内容を設け、資料の収集、処理や発表、数値計算や観察、実験などで、コンピュータや情報通信ネットワークを効果的に活用した。 2 生徒自身が主体的に必要な情報を考え、それを収集、処理、伝達する方法として情報手段の活用を図り、取捨選択する機会も与えることで、情報活用の実践力を育成した。 <u>成果と課題等</u> 現代社会で不可欠となっているコンピュータなどの電子機器の基礎的な利用知識等の習得のための情報教育を行っていく上で、重要な役割をはたしており、一定の成果を挙げている。 しかし、コンピュータを扱うために専門的な知識を必要とすることもあり、指導する教員も新しい情報を常に入手し時代に即応する能力が求められることから、学校と設備を管理する教育委員会とが密接に連携していくことが必要である。 また、震災により小中学校のハードの更新が延期されていることから、今後速やかに更新を図っていく。 ソフト面では研修会等の開催や外部研修会への参加を促し、今後も続々と出てくる機器や通信方法にも目を配り、情報モラルの習得に向けて児童生徒の指導に当たれるよう情報教育の充実を図りたい。	
【学識経験者の意見等】 インターネットに関わる事件が多い昨今、いついかなる形で児童生徒が巻き込まれるか、予断を許さない。今やれる最良の知識と機器の操作の仕方、万が一にも巻き込まれた時の対応の仕方など、学年に応じた指導をお願いしたい。 また、児童生徒の実態や学校の要望に合わせて、指導する教員の能力を高めるような研修会の開催などの支援をしてほしい。	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p>⑰ 小中学校教育振興事業（特色ある学校づくり）</p>	<p>【担当班等】</p> <p>学務課 教育総務班</p>
<p>【重点施策の項目等】</p> <p>(1) 学校教育の充実</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 創意ある教育課程の編成</p> <p style="padding-left: 40px;">② 学習習慣の確立と主体的学習による学力向上の推進及び体験学習の充実</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 創意に満ちた学校経営</p> <p style="padding-left: 40px;">① 地域に即した特色ある学校経営の推進</p>	
<p>【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】</p> <p><u>事業の概要</u></p> <p>「総合的な学習の時間」の創造的活動を展開し、学校が特色ある学校づくりを推進できるよう補助金を助成している。</p> <p><u>実施状況</u></p> <p>補助金交付申請書及び実績報告書の提出により、各学校の事業内容を精査することで、補助金の適正な執行を担保している。</p> <p>学校は自由に事業を行えることから、地域に根差した総合的な学習を行っており、学校が所在する地区の文化、伝統を継承することに一役買っていると考えられる、</p> <p><u>成果と課題等</u></p> <p>実績報告書等で確認する限り、地域と学校の橋渡しとして有意義に補助金が執行されていることが窺えるので、今後も継続して補助していく意義は、十分にあると感じている。</p> <p>補助金は、各学校とも地域に根差した特色ある学校づくりに活用されており、さらに今後は特色ある教育活動の様子を各学校のホームページ等を活用して公表してほしいと考えている。</p>	
<p>【学識経験者の意見等】</p> <p>迅速に予算の執行ができるため、各校で活発に特色ある学校づくりに取り組むことができる。</p> <p>今後とも、この取り組みをぜひ継続して行ってほしい。</p>	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 ⑱ 学校保健推進事業	【担当班等】 学務課 教育総務班												
【重点施策の項目等】 (1) 学校教育の充実 ア 創意ある教育課程の編成 ④ 体力・運動能力の向上及び健康増進と安全教育の推進 ウ 学習環境の充実と学習活動支援体制 ⑥ 児童生徒の健全育成に関する関係機関との連携													
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 <u>事業の概要</u> 学校における保健管理と保健教育について、児童生徒等の健康の保持増進を図ること、集団教育としての学校教育活動に必要な健康や安全への配慮を行うこと、自己や他者の健康の保持増進を図ることができるような能力を育成すること等の充実のために適切な指導及び支援を行う。													
<u>実施状況</u> 1 学校医（各校に配置） <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">校 医</td> <td style="padding-right: 20px;">1 1 名</td> <td>（亘理小学校のみ 2 名）</td> </tr> <tr> <td>眼科校医</td> <td>2 名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耳鼻科校医</td> <td>1 名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>歯科校医</td> <td>9 名</td> <td></td> </tr> </table> 2 児童生徒学校検診 校内検査（身長、視力、聴力、等） 検診機関による検査（尿検査、心電図検査、寄生虫卵検査、等） 校医による検診（内科、眼科、耳鼻科、歯科）		校 医	1 1 名	（亘理小学校のみ 2 名）	眼科校医	2 名		耳鼻科校医	1 名		歯科校医	9 名	
校 医	1 1 名	（亘理小学校のみ 2 名）											
眼科校医	2 名												
耳鼻科校医	1 名												
歯科校医	9 名												
3 就学時健康診断 実施日：平成 2 5 年 1 0 月 2 2 日、2 4 日、2 5 日 会 場：亘理町中央公民館 対象者：2 6 年度就学予定者（2 7 3 名）													
<u>成果と課題等</u> 上記事業の中で、むし歯、肥満傾向の率が比較的高い数値を示しており、昨年度からの課題となっていた。 むし歯対策については、小中学校で昼休み時間の歯磨き奨励等の啓発を実施した。また 2 5 年度より東北大学大学院歯学研究科と協定を結び、歯科検診結果のデータ化・分析を行った。 肥満傾向に対する対策については、養護教諭と役場健康推進課保健師を参集し学校保健事業に関する打合会を開催した。また糖尿病等生活習慣病予防対策として、体格・尿検査等のデータ集約を行った。 平成 2 6 年度以降については、関係機関からの助言をいただきながら、今年実施した対策事業を継続し、効果的な対策を講じていきたい。													
【学識経験者の意見等】 東北大学など関係機関と連携し、検診・検査結果のデータ化、分析を行ったことは、高く評価できる。 また、前年度に比し、各校でむし歯対策に乗り出している。町としても予防策を講じるなど、前進していることがうかがえる。 今後は、分析結果を活用し、継続して適切な対策を講じてほしい。													

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 ⑱ 特別支援教育推進事業	【担当班等】 学務課 教育総務班
【重点施策の項目等】 (1) 学校教育の充実・・・ウ 学習環境の充実と学習活動支援体制 ② 教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進 ⑥ 児童生徒の健全育成に関する関係機関との連携	
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 <u>事業の概要</u> 障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行う。	
<u>実施状況</u> 1 学校見学及び教育相談 心身に障害のある学齢児童、学齢生徒等の就学先を決定するための準備として保護者、対象児童生徒等を対象に居住地校、特別支援学校の見学、教育に関する相談事業を行った。 ・開催日：平成25年6月～8月（随時個別対応）	
2 亶理町心身障害児就学指導審議会 教育委員会の諮問に応じ、心身に障害のある学齢児童、学齢生徒等の就学指導に関する重要事項を調査審議するため、亶理町心身障害児就学指導審議会を設置している。 開催日：平成25年11月7日（木） 審議件数：106件（新就学7件 在学学生49名 ことばの教室60名） 出席者：委員（学校医、小中学校長、学識経験者、関係職員） 説明員（担任、担当保健師等）	
3 関係機関との連携 特別支援教育に関するネットワークを密にするため、特別支援教育地域センター校である山元支援学校主催の亶理・山元地区特別支援教育連絡会に参加し、また、必要に応じ、発達障害者支援センター、児童相談所、保健センター、ハローワーク等、福祉、医療、保健、労働関係機関との連携を図った。	
4 特別支援教育支援員の配置 障害のある児童生徒の学習上・生活上の支援を行うため、亶理町教育委員会の事業として特別支援教育に関する支援員を配置しその活用を図った。 ・小学校： 亶理小3名、逢隈小3名、吉田小1名、長瀬小1名、高屋小1名 合計9名を配置 ・中学校： 亶理中1名、吉田中1名、逢隈中1名 合計3名を配置	

5 町立小中学校特別支援学校児童・生徒合同訓練事業（七ツ森希望の家）補助金
亶理町立小・中学校特別支援学級設置校担当者会に対し補助金を交付した。
児童生徒の社会生活への適応力を高めること、共同学習を推進し社会生活への
適応力を高めることを目的としている。

特別支援学級在籍の児童生徒数の変化や年齢差を考慮し、24年度まで小中合
同で行っていた事業を、25年度から小学校と中学校に分けて開催した。

- ・第1回（小中合同） 平成25年7月11日 亶理小体育館
親子間、保護者間の交流事業
- ・第2回（小学校） 平成25年10月18日～19日
宿泊合宿（大和町 七ツ森希望の家等）
- ・第2回（中学校） 平成25年10月30日～31日
宿泊合宿（仙台市 県障害福祉センター等）
- ・第3回（小学校） 平成26年2月6日
買い物学習会（名取市 名取イオンモール等）

成果と課題等

平成18年6月に学校教育法等の改正が行われ、小・中学校等に在籍する教育上特
別の支援を必要とする児童生徒等に対して、適切な教育（特別支援教育）を行うこと
が明確に位置付けられた背景、具体的には平成18年度より通級による指導の対象障
害種にLD、ADHDを加えたことで、発達障害やその疑いのある児童生徒数が法改
正前と比べ増加している。

※ LD（学習障害）とは、知的発達の遅れは見られないが、特定の能力に著しい困難を示すものです。

※ ADHD（注意欠陥多動性障害）とは、発達段階に不釣り合いな注意力や衝動性、多動性を特徴とする行動の障害です。

※ 両者ともに脳などの中枢神経系に何らかの機能障害があると推定され、発達障害に分類されます。

当該児童生徒の持てる力を高め、生活や学習上の困難を周囲の適切なサポート等
を行うために、特別支援教育支援員、教育委員会内での専門知識を持った職員等のサポ
ート側となる人的配置がまだ十分とは言えない状況であるため、積極的な募集手段を
考える必要がある。

【学識経験者の意見等】

支援員の配置により、きめ細かい支援が可能になっており、児童生徒本人もさること
ながら、保護者にとってもありがたい有意義な事業である。

引き続き、適切な人的配置や補助金の交付等に尽力していただきたい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 ㊿ 要保護・準要保護児童生徒就学援助事業 特別支援教育就学奨励事業	【担当班等】 学務課 教育総務班												
【重点施策の項目等】 (1) 学校教育の充実・・・ウ 学習環境の充実と学習活動支援体制 ㊿ 学習環境の整備充実と適切な管理運営													
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 事業の概要 経済的な理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対して必要な援助を行い、対象児童生徒の就学を支援する。なお、東日本大震災により被災した児童生徒の保護者に対しても、就学援助の対象としている。 特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、所得状況等に応じて必要な援助を行い、対象児童生徒の就学の奨励に努めるとともに特別支援教育の振興に資する。													
実施状況 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="padding: 5px;">要保護・準要保護就学援助費（小学校） （うち震災によるもの）</td> <td style="padding: 5px; text-align: center;">437 人 (286 人)</td> <td style="padding: 5px; text-align: right;">26, 256, 731 円 (18, 203, 095円)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">要保護・準要保護就学援助費（中学校） （うち震災によるもの）</td> <td style="padding: 5px; text-align: center;">273 人 (168 人)</td> <td style="padding: 5px; text-align: right;">25, 263, 603円 (16, 060, 196円)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">特別支援教育就学奨励費（小学校）</td> <td style="padding: 5px; text-align: center;">22 人</td> <td style="padding: 5px; text-align: right;">656, 161円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">特別支援教育就学奨励費（中学校）</td> <td style="padding: 5px; text-align: center;">11 人</td> <td style="padding: 5px; text-align: right;">490, 338円</td> </tr> </table>		要保護・準要保護就学援助費（小学校） （うち震災によるもの）	437 人 (286 人)	26, 256, 731 円 (18, 203, 095円)	要保護・準要保護就学援助費（中学校） （うち震災によるもの）	273 人 (168 人)	25, 263, 603円 (16, 060, 196円)	特別支援教育就学奨励費（小学校）	22 人	656, 161円	特別支援教育就学奨励費（中学校）	11 人	490, 338円
要保護・準要保護就学援助費（小学校） （うち震災によるもの）	437 人 (286 人)	26, 256, 731 円 (18, 203, 095円)											
要保護・準要保護就学援助費（中学校） （うち震災によるもの）	273 人 (168 人)	25, 263, 603円 (16, 060, 196円)											
特別支援教育就学奨励費（小学校）	22 人	656, 161円											
特別支援教育就学奨励費（中学校）	11 人	490, 338円											
成果と課題等 対象児童生徒数の増加に伴い、事業の円滑な実施のための財源確保が課題となっている。中でも「宮城県被災児童生徒就学支援事業費補助金」については、被災した児童生徒が就学援助の対象となっており、現行制度上は平成26年度までの措置であることから、平成27年度以降も引き続き補助を実施するよう県に求めていくとともに、県補助が廃止された場合の事業実施について検討が必要である。 <ul style="list-style-type: none"> ・要保護→要保護児童生徒援助費補助金（2分の1） ・準要保護→平成17年度より一般財源化 ・被災児童生徒→宮城県被災児童生徒就学支援事業費補助金（10分の10） ・特別支援学級→特別支援教育就学奨励費補助金（2分の1） 併せて、所得状況の確認に係る事務量の増大や事務の複雑化が課題となっている。													
【学識経験者の意見等】 本町の災害の復旧・復興は進んでいるものの、生活環境が悪化している家庭が多く見られる。被災家庭も含め、就学援助は経済的に困窮している家庭にとって必要不可欠な事業である。 県の補助金が廃止されることも予想されるが、できるだけ現状維持の方向で、今後も財源確保に努め、ぜひ継続してほしい。													

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 ㉑ 学校教育施設 管理整備事業	【担当班等】 学務課 教育総務班																										
【重点施策の項目等】 (1) 学校教育の充実・・・ ウ 学習環境の充実と学習活動支援体制 ③ 学習環境の整備充実と適切な管理運営																											
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 事業の概要 1 安全に、安心して学べる教育施設としての学校の施設・設備の機能の充実を図る。 2 施設整備を計画的に改修し、効率的な管理運営を行う。 実施状況 { 小学校 } 小学校では、教育の基礎づくりを行う場として、知、徳、体の調和のとれた心豊かな人間性の教育を目指し、将来の国家社会の良き形成者として、心身共に健やかな児童の資質を養うため施設設備の整備管理に努めた。 【主要工事等（小学校）】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr><td style="padding: 2px;">①高屋小学校プール改修工事</td><td style="text-align: right; padding: 2px;">8,281 千円</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">②亘理小学校プール更衣室西面窓改修工事</td><td style="text-align: right; padding: 2px;">462 千円</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">③荒浜小学校遊具設置工事</td><td style="text-align: right; padding: 2px;">2,783 千円</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">④亘理小学校トイレ改修工事</td><td style="text-align: right; padding: 2px;">893 千円</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">⑤荒浜小学校外壁改修工事</td><td style="text-align: right; padding: 2px;">14,700 千円</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">⑥高屋小学校グラウンド改修工事</td><td style="text-align: right; padding: 2px;">11,600 千円</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">⑦吉田小学校南門排水側溝改修工事</td><td style="text-align: right; padding: 2px;">918 千円</td></tr> </table> { 中学校 } 中学校では、主として国家及び社会の形成者としての必要な資質並びに将来の進路にかかわる基礎知識と技能及び能力を身に付け、心身共に健康な生徒を育成するため施設設備の整備管理に努めた。 【主要工事等（中学校）】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr><td style="padding: 2px;">①亘理中学校音楽室音響設備改修工事</td><td style="text-align: right; padding: 2px;">704 千円</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">②亘理中学校昇降口タイル改修工事</td><td style="text-align: right; padding: 2px;">4,400 千円</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">③逢隈中学校防砂ネット設置工事</td><td style="text-align: right; padding: 2px;">2,552 千円</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">④吉田中学校グラウンド整備工事</td><td style="text-align: right; padding: 2px;">42,749 千円</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">⑤吉田中学校プール改修工事</td><td style="text-align: right; padding: 2px;">8,400 千円</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">⑥吉田中学校多目的トイレ設置工事</td><td style="text-align: right; padding: 2px;">3,300 千円</td></tr> </table>		①高屋小学校プール改修工事	8,281 千円	②亘理小学校プール更衣室西面窓改修工事	462 千円	③荒浜小学校遊具設置工事	2,783 千円	④亘理小学校トイレ改修工事	893 千円	⑤荒浜小学校外壁改修工事	14,700 千円	⑥高屋小学校グラウンド改修工事	11,600 千円	⑦吉田小学校南門排水側溝改修工事	918 千円	①亘理中学校音楽室音響設備改修工事	704 千円	②亘理中学校昇降口タイル改修工事	4,400 千円	③逢隈中学校防砂ネット設置工事	2,552 千円	④吉田中学校グラウンド整備工事	42,749 千円	⑤吉田中学校プール改修工事	8,400 千円	⑥吉田中学校多目的トイレ設置工事	3,300 千円
①高屋小学校プール改修工事	8,281 千円																										
②亘理小学校プール更衣室西面窓改修工事	462 千円																										
③荒浜小学校遊具設置工事	2,783 千円																										
④亘理小学校トイレ改修工事	893 千円																										
⑤荒浜小学校外壁改修工事	14,700 千円																										
⑥高屋小学校グラウンド改修工事	11,600 千円																										
⑦吉田小学校南門排水側溝改修工事	918 千円																										
①亘理中学校音楽室音響設備改修工事	704 千円																										
②亘理中学校昇降口タイル改修工事	4,400 千円																										
③逢隈中学校防砂ネット設置工事	2,552 千円																										
④吉田中学校グラウンド整備工事	42,749 千円																										
⑤吉田中学校プール改修工事	8,400 千円																										
⑥吉田中学校多目的トイレ設置工事	3,300 千円																										

成果と課題等

現在、施設設備の不備による事故等は防止できているため、安全、安心の点では成果を挙げている。

しかし、老朽化が進む施設や震災で被害を受けた施設が多数あり、修繕箇所及び費用が年々増加しており、特に、亘理小学校校舎や逢隈小中学校の体育館などでは、施設の更新についても検討しながら、無駄にならないよう優先順位をつけ、計画的に修繕・改修・更新を行っていく必要がある。

さらには、毎年、新たな補修箇所が発生しており、緊急に修繕等の対処を取らなければならないケースも増えているが、今後も児童生徒の安全面の確保や教育環境の整備のため、迅速かつ計画的に点検・修繕・改修に努めたい。

【学識経験者の意見等】

計画的な改修により、施設整備の不備による事故が防止できているとのことは、何よりうれしい限りである。

老朽化の上、震災被害を受けた施設も多く、少ない予算の中でのやり繰りは、大変とは思いますが、今後も児童生徒のため、計画的に進めてほしい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 ㉔ 公立学校施設災害復旧事業	【担当班等】 学務課 教育総務班																				
【重点施策の項目等】 (1) 学校教育の充実・・・ウ 学習環境の充実と学習活動支援体制 ㉓ 学習環境の整備充実と適切な管理運営																					
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 事業の概要 東日本大震災により被災した小・中学校施設の改修・改装及び再校のために必要な備品購入を行い、児童生徒の学習環境の改善及び学校運営の適切な管理に努める。																					
実施状況 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="padding: 2px;">長瀬小学校災害復旧工事 監理業務委託料</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">9,500,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">逢隈小学校災害復旧工事 監理業務委託料</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">9,450,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">荒浜中学校災害復旧工事 監理業務委託料</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">10,400,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">長瀬小学校災害復旧工事 (校舎新築、体育館・プール補修)</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">322,030,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">逢隈小学校災害復旧工事 (プール)</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">184,990,050 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">長瀬小学校校舎外解体災害復旧工事 (H24 繰越事業費)</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">59,579,550 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">荒浜中学校災害復旧工事 (校舎・体育館新築)</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">448,260,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">荒浜中学校災害復旧工事 (プール)</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">3,120,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">逢隈中学校災害復旧工事 (プール)</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">40,320,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">荒浜小学校災害復旧備品購入事業</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">1,023,200 円</td> </tr> </table>		長瀬小学校災害復旧工事 監理業務委託料	9,500,000 円	逢隈小学校災害復旧工事 監理業務委託料	9,450,000 円	荒浜中学校災害復旧工事 監理業務委託料	10,400,000 円	長瀬小学校災害復旧工事 (校舎新築、体育館・プール補修)	322,030,000 円	逢隈小学校災害復旧工事 (プール)	184,990,050 円	長瀬小学校校舎外解体災害復旧工事 (H24 繰越事業費)	59,579,550 円	荒浜中学校災害復旧工事 (校舎・体育館新築)	448,260,000 円	荒浜中学校災害復旧工事 (プール)	3,120,000 円	逢隈中学校災害復旧工事 (プール)	40,320,000 円	荒浜小学校災害復旧備品購入事業	1,023,200 円
長瀬小学校災害復旧工事 監理業務委託料	9,500,000 円																				
逢隈小学校災害復旧工事 監理業務委託料	9,450,000 円																				
荒浜中学校災害復旧工事 監理業務委託料	10,400,000 円																				
長瀬小学校災害復旧工事 (校舎新築、体育館・プール補修)	322,030,000 円																				
逢隈小学校災害復旧工事 (プール)	184,990,050 円																				
長瀬小学校校舎外解体災害復旧工事 (H24 繰越事業費)	59,579,550 円																				
荒浜中学校災害復旧工事 (校舎・体育館新築)	448,260,000 円																				
荒浜中学校災害復旧工事 (プール)	3,120,000 円																				
逢隈中学校災害復旧工事 (プール)	40,320,000 円																				
荒浜小学校災害復旧備品購入事業	1,023,200 円																				
成果と課題等 引続き事業の円滑な実施に努めるとともに、国庫補助等の交付申請、実績報告及び請求事務を確実に処理していく。 なお、平成26年度中に長瀬小学校、荒浜中学校の新築復旧が完成し、国庫補助事業としての災害復旧事業は、荒浜小学校プール災害復旧工事を残すのみとなる見込みである。																					
【学識経験者の意見等】 本町は、復旧が計画通り進行しており、また、被災校の再校に向けた工事も滞りなく進められていること、関係職員の努力に感謝する。 今後とも計画に沿って遅滞なく進められるようお願いしたい。																					

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 ㉓ 奨学金貸付事業	【担当班等】 学務課 教育総務班			
【重点施策の項目等】 (1) 学校教育の充実・・・ウ 学習環境の充実と学習活動支援体制 ㉓ 学習環境の整備充実と適切な管理運営				
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 事業の概要 町内に居住若しくは生活の基盤を置く高校生、高等専門学校生、専修校生、短大生及び大学生で、向学心に燃え学業・人物ともに優秀かつ健康な者で、経済的に学資の支弁が困難と認められるものに対し、奨学金を貸与し有望な人材の育成を図る。				
実施状況 1 亘理町奨学生選考委員会の開催状況等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催時期 : 平成25年4月 ・ 申請件数 : 7件 ・ 採用決定件数 7件 ・ 委員の構成 : 副町長、教育委員2名、有識者3名 計6名 2 貸付状況等（平成25年度貸付分）				
①平成25年度新規に決定した貸付対象者数及び貸付実施額等				
区 分	人数(人)	月額(円)	延月数(月)	今年度貸付額(円)
高校生	0	12,000	0	0
高等専門学校生	0	20,000	0	0
専修学校生	0	25,000	0	0
短大生	0	25,000	0	0
大学生	7	30,000	84	2,520,000
計	7	/	84	2,520,000
②平成24年度以前に決定した貸付対象者数及び貸付実施額等				
区 分	人数(人)	月額(円)	延月数(月)	今年度貸付額(円)
高校生	4	12,000	48	576,000
高等専門学校生	1	20,000	12	240,000
専修学校生	0	25,000	0	0
短大生	1	25,000	12	300,000
大学生	6	30,000	72	2,160,000
計	12	/	144	3,276,000

③平成25年度の貸付対象者数及び貸付実施額等（合計）

区 分	人数(人)	月額(円)	延月数(月)	今年度貸付額(円)
高校生	4	12,000	48	576,000
高等専門学校生	1	20,000	12	240,000
専修学校生	0	25,000	0	0
短大生	1	25,000	12	300,000
大学生	13	30,000	156	4,680,000
計	19		228	5,796,000

成果と課題等

震災の影響で家計が苦しくなり、貸付の申請に至ったケースもあったので、震災復興の観点からも有意義な事業となっていると考えられ今後とも継続していく。

だが、貸付期間が終了後、就職出来ない、震災の影響で生活基盤を失った等の様々な理由で本人の収入が見込めず、償還が滞るケースも見られる。

償還金は次の世代への貸付に充てられる資金でもあり、申請の段階でも必ず保証人を立てるよう徹底していくことや、滞納者あてには継続的に督促を行うなどにより、滞納を出来る限り減らすよう努めていく。

【学識経験者の意見等】

今日、日本では、経済的理由を持って進学できない生徒がいると聞く。教育は誰でも等しく受けられるべきものであると思う。

この事業は、向学心に燃える子どもたちの進学の夢を叶えるための支援として、大変意義のあるものである。今後もこの貸付事業の継続をお願いしたい。

11 給食実施状況

区 分	給食費	週 5 回 (米飯 4 回, パン 1 回)	給食延人数	
			給食	職員等
小学校	2 5 5 円	174回	337, 905 人	227人
中学校	2 9 7 円	1・2年生 168回	173, 214 人	職員等 5, 161人
		3年生 163回		A L T 349人
山元支援学校	3 0 0 円	184回	15, 520 人	

※ 宮城県立山元支援学校については、山元町の中浜小学校で給食の提供を行っていたが、東日本大震災で被災し、給食提供ができなくなり、本給食センターが同支援学校に給食の提供をしている。

12 放射能測定

【食材の測定】

翌日に使用する主要食材(野菜等)について、産地を確認し実施している。

【給食の測定】

調理済みの給食(500cc分)を混合し、配送前に毎日実施している。

成果と課題等

- 1 施設の衛生管理に、十分気を配り、異物混入やノロウイルス等の感染について、安全点検や感染予防対策に務め、安全・安心な学校給食の提供ができた。
- 2 食材サンプルの放射能測定を実施し、安全・安心のできる給食の提供に努めた。
- 3 各学校へ出向いて衛生管理や食の指導に努めた。今後も、家庭での食育について役立つ情報の提供を図りたい。
- 4 給食センターの施設は、老朽化しており早急な建替えの必要性がある。

【学識経験者の意見等】

衛生管理に努め、リクエスト献立や地場産品使用の郷土料理など児童生徒に豊かな給食を提供していることは高く評価したい。

かつて、他自治体のある学校で給食の中に異物が混入する事件があった。施設の老朽化により天井からの落下物があったようで、職員も気づかなかったようである。本町の給食センター改築はまだまだ先なので、今後とも安全面そして衛生面にも注意し対策を徹底されるようお願いしたい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 ㉔ 私立幼稚園就園奨励事業	【担当班等】 学務課 教育総務班
【重点施策の項目等】 (1) 学校教育の充実・・・ ウ 学習環境の充実と学習活動支援体制 ㉔ 児童生徒の健全育成に関する関係機関との連携	
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 <u>事業の概要</u> 保護者の経済的負担軽減と、幼児教育の振興を目的として、入園料及び保育料を減免した私立幼稚園に対し補助を行う。 <u>実施状況</u> 補助対象者は国が定めた限度額表に応じて選定している。 1 対象者数 ・ ・ ・ 291人 2 事業費 ・ ・ ・ 33,296,700円 3 各幼稚園内訳 ① いちょうの実幼稚園 ・ ・ ・ ・ 12,099,600円 ② のぞみ幼稚園 ・ ・ ・ ・ ・ 3,032,800円 ③ 岩沼さくら幼稚園 ・ ・ ・ ・ 4,709,200円 ④ 岩沼こぼと幼稚園 ・ ・ ・ ・ 1,742,900円 ⑤ 岩沼南こぼと幼稚園 ・ ・ ・ ・ 2,259,000円 ⑥ 岩沼西こぼと幼稚園 ・ ・ ・ ・ 310,200円 ⑦ ふじ幼稚園 ・ ・ ・ ・ ・ 6,431,500円 ⑧ やまもと幼稚園 ・ ・ ・ ・ ・ 2,274,000円 ⑨ 愛宕幼稚園 ・ ・ ・ ・ ・ 226,000円 ⑩ ふたば幼稚園 ・ ・ ・ ・ ・ 149,300円 ⑪ なとり幼稚園 ・ ・ ・ ・ ・ 62,200円 この事業は国庫補助の対象であるため、事業費の一部（1/3以内）が国庫補助金として町の歳入となる。平成25年度の交付額は次のとおり。 平成25年度国庫補助金交付額 7,740,000円	

成果と課題等

1 この事業により、幼稚園就園児童の保護者の経済的負担軽減が図られており、幼児教育の充実に大きな役割を担っている。

ただし、事務の面では、電算のシステムがなく手作業で入力処理などを行っているものなので、事業対象者の決定には二重三重のチェックが必要である。

また、東日本大震災の被災者補助のために類似した制度もあるため、利用者の制度理解を困難なものにしている面が見られる。

2 国が定める限度額や対象者数が増加しているため、それに伴う支出も増加している。国庫補助金は事業費の1/3の更に約65パーセント程度で毎年推移しているため、町の財政的な負担も増加しているが、幼児教育の充実や他の幼児施設との負担の公平化の面からも大きな役割を果たしている。

3 事務手続き等の煩雑さなどの負担はあるが、子育て中の保護者の経済的負担の軽減を支援するためには、今後も必要な事業である。

また、運用に関しては、対象となる子どもの情報の共有化を図るため、今後も保育所・幼稚園・小学校との連携を強めていきたい。

【学識経験者の意見等】

保護者の経済的負担の軽減が図られることで、幼児教育を充実させることができる重要な事業である。

電算化は事業規模から見て困難とのことで、担当職員にとって類似した事業もあるため、気を抜く暇もなく、事務手続きの煩雑さは大変だと思うが 保護者の負担軽減のためにも今後も継続して行ってほしい。

(2) 生涯学習の充実と振興

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p>⑳ 生涯学習推進体制の整備充実</p>	<p>【担当班等】</p> <p style="text-align: center;">生涯学習課 生涯学習班</p>
<p>【重点施策の項目等】</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 生涯学習の充実と振興</p> <p style="padding-left: 40px;">① 生涯学習推進体制の整備充実</p>	
<p>【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】</p> <p>事業の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生涯学習を総合的に企画・調整・推進するため生涯学習推進組織の整備充実や指針の策定など、生涯学習推進体制の整備を図る。 2 民間指導者や生涯学習ボランティアの発掘・育成に努め、生涯学習支援人材バンクの充実を図る。 <p>実施状況</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 社会教育運営方針を策定し、生涯学習関係職員定例会により生涯学習を総合的に推進した。 2 実施内容は、次のとおり。 <ol style="list-style-type: none"> ① 人材バンク登録状況 個人33 , 団体13 ② 利用状況 1件(マジックショー) ③ 募集及び利用方法 町ホームページに登録の募集、利用方法を掲載しPR。 <p>成果と課題等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生涯学習関係職員定例会により、職員間の情報交換・連携強化を図ることができた。 2 利用実績が少ないので利用増を図るため、小・中学校の「総合的な学習の時間」等における外部人材活用との連携や活用しやすい方策を検討中であり、併せて登録の募集により登録増を図っていく。 	
<p>【学識経験者の意見等】</p> <p style="padding-left: 40px;">利用者を増やすためには、人材バンク登録者の会合を開いて情報交換を行うなど、新しい手立てを講じる必要がある。適切な運営をお願いしたい。</p>	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p>⑳ 生涯学習に関する情報管理・提供体制の充実</p>	<p>【担当班等】</p> <p style="text-align: center;">生涯学習課</p> <p style="text-align: center;">生涯学習班</p>
<p>【重点施策の項目等】</p> <p>(2) 生涯学習の充実と振興</p> <p style="padding-left: 20px;">② 生涯学習に関する情報管理・提供体制の充実</p>	
<p>【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】</p> <p><u>事業の概要</u></p> <p>1 広報誌やホームページに加え、生涯学習カレンダー発行により多様に進められている学習活動の情報を集約し、一層の充実を図る。</p> <p>2 施設の空き室情報をインターネットを通じて町民に提供するシステムを検討する。</p> <p><u>実施状況</u></p> <p>1 ① 広報誌・ホームページ・FMあおぞらを活用し各種教室・講座の告知と受講生の募集を実施した。</p> <p style="padding-left: 20px;">② 町、小中学校、まちづくり協議会等の行事を掲載した生涯学習カレンダーを発行（3月に550部発行し関係機関に配付）</p> <p>2 利用者のほとんどが町民で継続的に利用しており、空き室情報は窓口・電話による対応で足りている。</p> <p><u>成果と課題等</u></p> <p>1 各媒体により町民に対し周知することができた。</p> <p>2 空き室情報は窓口・電話による対応で足りている。</p> <p style="padding-left: 40px;">（町民向けのインターネットを通じた施設の空き室情報システムは、町民側の接続環境の整備も必要となる。）</p>	
<p>【学識経験者の意見等】</p> <p style="padding-left: 40px;">各媒体による情報提供により、町民が施設を十分利用することができている。情報管理・提供体制についても、適切な運営をお願いしたい。</p>	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】 ㊸ 生涯学習機会の拡充と学習活動の促進支援の強化 (公民館事業)</p>	<p>【担当班等】 生涯学習課 生涯学習班</p>																					
<p>【重点施策の項目等】 (2) 生涯学習の充実と振興 ㊸ 生涯学習機会の拡充と学習活動の促進支援の強化</p>																						
<p>【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】</p> <p><u>事業の概要</u> 1 地域住民の学習ニーズを定期的に把握し、教室・講座を開催する。 2 学習成果の多様な発表の場を提供する。</p> <p><u>実施状況</u></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">1 公民館の教室・講座を開催</td> <td style="width: 20%;">10 講座</td> <td style="width: 50%;">受講者数 272 人</td> </tr> <tr> <td> ① 米粉パン教室</td> <td>2 回</td> <td></td> </tr> <tr> <td> ② ヨガ教室</td> <td>1 回</td> <td></td> </tr> <tr> <td> ③ 親子あそび創作教室</td> <td>4 回(米粉パン教室、陶芸教室 各 2 回)</td> <td></td> </tr> <tr> <td> ④ ヘルシー学園</td> <td>1 回</td> <td></td> </tr> <tr> <td> ⑤ 親子木工教室</td> <td>1 回</td> <td></td> </tr> <tr> <td> ⑥ ひと味違った書の教室</td> <td>1 回(吉田公民館とまちづくり協議会の共催事業)</td> <td></td> </tr> </table> <p>2 発表の場</p> <p> ① 公民館まつり 作品展示団体 9 団体(実演4団体)、ステージ発表団体25団体、 模擬店協力団体 3 団体、来場者 600 人</p> <p> ② 敬老式典、賀詞交歓会時の太鼓、民謡、踊りなどのアトラクション発表</p> <p> ③ 中公ロビー、悠里館ギャラリーを利用した絵手紙、押し花、陶芸などの作品展示</p> <p><u>成果と課題等</u> 平成 24 年度から東日本大震災復興に向けた行政組織体制により、公民館職員(△11 人)が減となり生涯学習課職員が 4 公民館を兼務し事業を実施しているが、東日本大震災前の事業量はできない現状にある。 公民館と同様の目的(住民自らが地域課題解決)に取り組むまちづくり協議会が管理運営できる体制(指定管理制度)を検討している。 なお、各まちづくり協議会では、陶芸教室、グラウンドゴルフ大会など独自に事業を実施している状況にある。</p>		1 公民館の教室・講座を開催	10 講座	受講者数 272 人	① 米粉パン教室	2 回		② ヨガ教室	1 回		③ 親子あそび創作教室	4 回(米粉パン教室、陶芸教室 各 2 回)		④ ヘルシー学園	1 回		⑤ 親子木工教室	1 回		⑥ ひと味違った書の教室	1 回(吉田公民館とまちづくり協議会の共催事業)	
1 公民館の教室・講座を開催	10 講座	受講者数 272 人																				
① 米粉パン教室	2 回																					
② ヨガ教室	1 回																					
③ 親子あそび創作教室	4 回(米粉パン教室、陶芸教室 各 2 回)																					
④ ヘルシー学園	1 回																					
⑤ 親子木工教室	1 回																					
⑥ ひと味違った書の教室	1 回(吉田公民館とまちづくり協議会の共催事業)																					
<p>【学識経験者の意見等】</p> <p>職員数の減少にもかかわらず、講座数、受講者数を増やした努力に敬意を表したい。</p> <p>課題となっている指定管理制度を導入するには、担当部署の異なる「町づくり協議会」と協議する場を、早い段階で設けることが肝要であり、行事を摺り合わせることで重複が避けられ、予算の無駄も省かれ、参加者も分散することなく事業を進めることができるものと思う。</p> <p>今後、まちづくり協議会との関係をより明確にし、移行できる講座等について具体的に考えていく必要がある。</p>																						

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p>⑳ 多様な学習機会及び交流機会の充実 (生涯学習班事業)</p>	<p>【担当班等】</p> <p style="text-align: center;">生涯学習課 生涯学習班</p>
<p>【重点施策の項目等】</p> <p>(2) 生涯学習の充実と振興</p> <p style="padding-left: 20px;">④ 多様な学習機会及び交流機会の充実</p>	
<p>【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】</p> <p><u>事業の概要</u></p> <p>1 各分野のニーズに対応した成人教育等の充実を図る。</p> <p>2 青少年教育の推進や健全育成活動の促進、家庭教育や子育て支援に関する教育事業を積極的に推進し、次代を担う子どもの育成や家庭、地域の教育力向上に努める。</p> <p><u>実施状況</u></p> <p>1</p> <p>(1) 女性団体リーダー研修会 11団体 48人参加</p> <p>(2) 成人式 出席284名</p> <p>(3) わたり復興ライブ 出演団体7 出演者19名 協力者5名 113人参加</p> <p>(4) 町長杯将棋大会 29人参加</p> <p>2</p> <p>(1) 青少年教育</p> <p style="padding-left: 20px;">① 人権教育事業</p> <p style="padding-left: 40px;">ア) 人権教育推進講座 亙理児童クラブ共催 3回 83人参加</p> <p style="padding-left: 40px;">イ) 人権教育体験講座</p> <p style="padding-left: 60px;">・盲導犬を通して視覚障がい者の人権を考える 3小学校 239人参加</p> <p style="padding-left: 60px;">・車いすバスケットを通して身体障がい者の人権を考える 4小学校 436人参加</p> <p style="padding-left: 20px;">② 姉妹・友好都市シニアリーダー研修・交流会 6人参加</p> <p style="padding-left: 20px;">③ インリーダー研修 10人参加</p> <p style="padding-left: 20px;">④ ジュニア・リーダー初級研修 20人参加</p> <p style="padding-left: 20px;">⑤ シニアリーダー研修会 11人参加</p> <p style="padding-left: 20px;">⑥ わたり未来づくり発表会 発表者20人 210人参加</p> <p style="padding-left: 20px;">⑦ 防災キャンプ 吉田小学校 60人参加</p>	

- ⑧ 「子どもをみまもり隊」合同研修会 86人参加
- ⑨ 町内巡回指導・有害広告除去活動 12人参加
- ⑩ サイエンス・フェスティバルin亘理 228人参加

(2) 家庭教育支援

- ① 家庭教育支援チーム「ぶらんこ」(20名)を中心とした事業
 - ア) 早寝早起き朝ごはん等の子どもの生活習慣づくりを学ぶ
3小学校 116人参加
 - イ) 入学前後の親の心得を学ぶ 1小学校 36人参加
 - ウ) 新入学児童保護者説明会における家庭教育ワンポイントアドバイス
4小学校 256人参加
- ② 子育てサポーター「らびっと」(21名)を中心とした事業
 - ア) 子育てサポーター養成講座 21人参加
 - イ) 子育てサロン「ピープル・ツリー」 10回 288人参加
 - ウ) 「三歳児の世界」学習講座 おひさまサロン 171組(342名)
 - エ) 思春期保健体験事業 3中学校 1,588人参加

成果と課題等

各種事業を実施し、それぞれに成果が得られた。

【学識経験者の意見等】

成人教育、青少年教育、家庭教育支援ともに多様な事業を展開しており、成果が得られていることは何よりである。

本町とは無縁と思うが、今、授業時間の増加、教科書内容の増量、小学校における「英語」の教科化、親の勤務態様の変化と勤務環境の激化等により、子どもはストレスを抱えているといわれている。それに関連してか、小学生の暴力が急増しているとのことであり、子どもたちにとっては、心の寄り添える場や人が必要で、その意味からも児童館事業や家庭支援事業、放課後支援事業(生涯学習の一事業として実施しているところもある)等々が展開されていることは重要である。

今後も家庭、地域の教育力向上に向けてご尽力をお願いしたい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 ③⑩ 図書館活動	【担当班等】 図書館 総務班																		
【重点施策の項目等】 (2) 生涯学習の充実と振興 ⑤ 図書館活動の充実																			
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 事業の概要 図書館法の理念及び亘理町教育基本方針に基づき、「生涯学習基盤の整備充実」を基本理念に図書館活動を通じて、町民の生活文化・教養の向上に努める。 そのために、情報化社会の中で多様化する学習需要に対処し、町民の要望に応え得る資料の収集を積極的に行い、生涯学習の場として、より親しみやすく利用しやすい図書館運営に努める。 実施状況 1 図書館の蔵書数等（平成26年3月31日現在） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">蔵書数</th> <th style="width: 25%;">視聴覚資料</th> <th style="width: 25%;">貸出数</th> <th style="width: 25%;">入館者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">153,209冊</td> <td style="text-align: center;">8,326点</td> <td style="text-align: center;">149,199点</td> <td style="text-align: center;">122,763人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 5px;">貸出数は、前年度比5,126点の増加、入館者数は、49人減少となった。 本3,194冊、CD120枚及びDVD55枚購入した。</p> 2 閲覧相談業務（平成26年3月31日現在） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">口頭</th> <th style="width: 33%;">電話</th> <th style="width: 33%;">文書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">83件</td> <td style="text-align: center;">13件</td> <td style="text-align: center;">0件</td> </tr> </tbody> </table> 3 他図書館との相互貸与（平成26年3月31日現在） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">借受数</th> <th style="width: 50%;">貸出数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">486点</td> <td style="text-align: center;">333点</td> </tr> </tbody> </table> 4 子ども読書活動の推進は、「おはなし会」を毎週水曜日に開催し、更に、読書週間に併せて「スペシャルおはなし会」・「クリスマスおはなし会」を行い本と親しむ機会の提供に取り組んだ。 5 大人向けとして、図書館講座「和古書講座」及び「聞かせ屋。けいたろう 絵本ライブ&絵本レッスン」を開催した。 6 本の「企画展示」・「季節展示」を行い、いろいろな本の紹介を行った。		蔵書数	視聴覚資料	貸出数	入館者数	153,209冊	8,326点	149,199点	122,763人	口頭	電話	文書	83件	13件	0件	借受数	貸出数	486点	333点
蔵書数	視聴覚資料	貸出数	入館者数																
153,209冊	8,326点	149,199点	122,763人																
口頭	電話	文書																	
83件	13件	0件																	
借受数	貸出数																		
486点	333点																		

- 7 学社融合事業として、逢隈小学校・高屋小学校で、おはなし会を実施した。
- 8 町内の小中学校へ966冊貸し出した。
- 9 ボランティア・団体等に1,571冊貸し出した。
- 10 荒浜小学校図書室再開の支援を行った。(5月～8月)

成果と課題等

- 1 「おはなし会」の定期開催により本と親しむ機会の提供が行えた。また幼児に対する読み聞かせの大切さを啓発し、家庭における実践を促すことが出来た。
- 2 昨年と比較すると、入館者が少なくなっているが、貸出冊数は増加しており今後とも図書館だより・図書館ひろばの広報誌を小学校及び仮設住宅集会所へ配付し、入館者の確保に努めていく。
- 3 効率的に資料を追加するとともに、現況調査等による分析に基づいた既存資料の除籍を行うことにより、資料収蔵スペースの確保に努めていく。
- 4 被災した学校では、まだ蔵書数が少ない現状にあり、図書館からの本の貸し出しを積極的に進めたい。また、読書活動を推進し心豊かな児童生徒を育むために、図書館司書と学校の司書教諭との連携も図っていききたい。

【学識経験者の意見等】

町民の生活文化・教養の向上のため図書館は重要である。亘理町立図書館では、幼児から小中学校、一般高齢者にいたるまで、各年齢層に応じた企画運営がなされており、大変良いと思う。今後も学社融合(※)、学校教育支援に努めてほしいと思う。

また、平成25年度の町民一人あたりの貸出数は、年間5冊程度である。もっと親しみやすい図書館を目指し、入館者数や貸出数を増やすよう工夫していただきたい。

※ 「学社融合」とは、学校教育と社会教育がそれぞれの役割分担を前提とした上で、そこから一歩進んで、学習の場や活動など両者の要素を部分的に重ね合わせながら、一体となって子どもたちの教育に取り組んでいこうとする考え方。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 ㊸ 生涯学習拠点施設の整備充実	【担当班等】 生涯学習課 生涯学習班
【重点施策の項目等】 (2) 生涯学習の充実と振興 ㊸ 生涯学習拠点施設の整備充実	
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 <u>事業の概要</u> 1 中央公民館をはじめとする各施設を計画的に改修する。 2 利用者が利用しやすい管理運営に努める。 <u>実施状況</u> 1 (1) 中央公民館 ① 中央公民館舞台照明改修工事 23,604,000円 ② 中央公民館調理実習室空調設備改修工事 3,538,500円 ③ 中央公民館エントランスホール床改修工事 1,522,500円 (2) その他の施設 ① 働く婦人の家内装外改修工事 2,100,000円 ② 勤労青少年ホーム災害復旧工事(繰越) 32,672,000円 ③ 農村環境改善センター災害復旧工事(繰越) 29,818,000円 ※中央公民館 築37年、働く婦人の家 築31年、悠里館 築21年 勤労青少年ホーム 築33年、農村環境改善センター 築20年 2 利用者が利用しやすい管理運営に努めた。 <u>成果と課題等</u> 1 各施設とも老朽化しており計画的に改修している。 2 保健センターが震災のため危険建物となり、健診等の会場として中央公民館に利用が集中したが、利用しやすい管理運営に努めた。なお、勤労青少年ホーム・農村環境改善センターの災害復旧工事が完了し7月から再開した。	
【学識経験者の意見等】 本町の社会教育施設の全般について、利用しやすい管理運営に努めていることは、職員の努力によるものであり感謝したい。 中央公民館は築37年とはいうものの、平成25年度に続き平成26年度にも館内の改修工事が予定されているとのことで、以前より見違えるようにきれいに明るくなってきており、利用する人たちも気持ちよく活動できるものと思う。	

(3) 文化の創造と活用

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p>⑳ 活動拠点施設の整備と全町的な芸術文化活動の推進</p>	<p>【担当班等】</p> <p>生涯学習課 生涯学習班</p>
<p>【重点施策の項目等】</p> <p>(3) 文化の創造と活用</p> <p>① 活動拠点施設の整備と全町的な芸術文化活動の推進</p>	
<p>【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】</p> <p><u>事業の概要</u></p> <p>1 町民会館の整備について検討する。</p> <p>2 講演会や演劇公演、音楽会など優れた芸術文化に接する機会の拡充に努める。</p> <p><u>実施状況</u></p> <p>1 町民会館の整備検討 未実施</p> <p>2 心のケアの一環として巡回小劇場(66万円)、青少年劇場小公演(24万円)を町内全小中学校ローテーションで実施。(東日本大震災復興基金交付金基金を活用)</p> <p>① 巡回小劇場(劇団あとむ「あとむの時間はアンデルセン」)亙理中学校9月9日(月)500人</p> <p>② 青少年劇場小公演(ヴァイオリンとチェロの演奏会) 荒浜小学校9月10日(火)150人</p> <p>3 復興支援コンサート(共催) 2回 345人</p> <p>① 7/14 ソナーレ・チャリティコンサート 265人</p> <p>② 9/16 “わ”で奏でる東日本応援心コンサート 80人</p> <p><u>成果と課題等</u></p> <p>1 公共ゾーンの配置案がまとまった段階であり、町民会館の整備計画が具体化した段階において検討したい。</p> <p>2 町費単独による優れた芸術文化に接する機会の拡充は、予算上難しく町民会館完成後に計画したい。</p> <p>なお、復興支援コンサートなど共催依頼があった場合は、内容を検討し実施している。</p>	
<p>【学識経験者の意見等】</p> <p>優れた芸術文化に触れあうことは、児童生徒の情操教育に良い影響を与えている。</p> <p>また、復興支援コンサートは、町民の心を癒し生き生きとしたものにしてくれており、関係者に深く感謝したい。</p> <p>今後とも、児童生徒、町民が優れた芸術文化に触れられるよう努められたい。</p>	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p>③ 芸術文化団体の育成と指導者の確保</p>	<p>【担当班等】</p> <p>生涯学習課</p> <p style="text-align: right;">生涯学習班</p>
<p>【重点施策の項目等】</p> <p>(3) 文化の創造と活用</p> <p style="padding-left: 20px;">② 芸術文化団体の育成と指導者の確保</p>	
<p>【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】</p> <p><u>事業の概要</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 町芸術文化協会をはじめ各種文化団体サークルの自主的活動を積極的に支援する。 2 芸術文化の向上を図るため優れた個人・団体・指導者を亘理町文化賞で顕彰する。 <p><u>実施状況</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 <ol style="list-style-type: none"> ① 亘理町文化祭を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・展示16団体 芸能23団体 特別ゲストとして各団体の先生の演技披露 ・亘理地区まちづくり協議会共催による芋煮等 ② 公民館等の室使用料の減免支援を実施 2 亘理町文化賞については、町内の小中学校、町芸術文化協会加盟団体及び県内の大学・短大・高校などに対象者の推薦依頼をした。 <p style="padding-left: 20px;">また、町広報誌により広く呼び掛けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・亘理町文化賞 奨励賞として14人を顕彰 <p><u>成果と課題等</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 町芸術文化協会をはじめ各種文化団体サークルの自主的活動を積極的に支援した。 2 顕彰対象者の推薦がある場合はよいが、新聞等で対象者を探すのは難しい。 	
<p>【学識経験者の意見等】</p> <p>文化祭の実施、施設各室の使用料の減免等は、町の芸術文化団体を育成し自主的活動を促すために大変有効である。</p> <p>町の支援があってこそ、各種文化団体やサークルが安心して活動できるのであり、今後も積極的に支援していただきたい。</p>	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 ⑳ 文化財保護事業	【担当班等】 生涯学習課 文化財班
【重点施策の項目等】 (3) 文化の創造と活用 ③ 文化財・文化遺産の保護・保存と活用の推進	
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 <u>事業の概要</u> 文化財周辺の環境整備、文化財の標柱・案内板の設置や、現状点検等保護・保存を図る。 <u>実施状況</u> 1 文化財保護委員会 ① 第1回文化財保護委員会 平成25年 5月23日開催 ② 第2回文化財保護委員会 平成25年11月 7日開催 2 文化財標柱及び案内板設置事業 ① 文化財標柱 設置数 3ヵ所 設置場所 椿貝塚、作田北遺跡、鹿島緒名太神社 ② 文化財案内板 設置数 10ヵ所 設置場所 三十三間堂官衙遺跡、竹の花横穴墓、慶月院の墓周辺 3 県指定文化財 伊達成実霊屋御開帳 互理伊達家初代領主伊達成実公霊屋並びに木像を年2回一般公開し、8月の開帳日には解説会を実施した。 期 日 1回目：8月16日 参加者193人（解説会参加者74人） 2回目：1月16日 参加者 84人 場 所 大雄寺境内 4 文化財防火査察・防火訓練 「文化財防火デー」にちなみ称名寺に於いて国指定天然記念物「シイノキ」、県指定天然記念物「スダジイ」、県指定文化財「木造阿弥陀如来立像」について防火査察及び防火訓練を、互理消防署、町教育委員会、文化財保護委員、近隣関係者、婦人防火クラブ会員と行った。 期 日 平成26年1月24日 参加者51人 場 所 称名寺	

5 発掘調査

- ① 東日本大震災復興に係る発掘調査 2件
- ② 一般開発事業に係る発掘調査 5件
 - ・国指定史跡三十三間堂官衙遺跡発掘調査 調査面積約 1 5 0 m²
 - ・吉田中部・南部・西部ほ場整備計画に伴う発掘調査 調査面積約 800m²

6 牛袋法印神楽記録保存事業

平成25年7月27日牛袋八雲神社に於いて奉納11の舞を撮影し、BD2枚、DVD2枚を作製した。

成果と課題等

- 1 文化財保護関連事業については、全般にはほぼ予定通りの事業を実施することができたが、環境整備については近年倒木や蜂の巣駆除などの対応が増加していることから、さらに定期的な点検を行い、対応に努めていく必要がある。文化財標柱設置事業は予定通りに実施できているが、今後文化財マップ等の作製や関連事業を実施し、文化財の周知・普及活動の充実を図っていくことが課題である。
- 2 発掘調査については、東日本大震災復興等に伴う調査により、三十三間堂官衙遺跡発掘調査実施に遅れが生じたが、第2次5ヵ年計画による調査事業を終了した。
全体的な進捗状況が遅れていることから、三十三間堂官衙遺跡保存整備計画並びにその他の発掘調査成果を保存・活用していくため、限られた職員体制の中でいかに発掘調査・整理・事務従事体制の充実を図っていくかが課題である。
- 3 牛袋法印神楽については、追加記録保存を実施することができたが、各保存会会員の高齢化による存続の危機が懸念されることから、町指定無形民俗文化財の周知・理解を図るとともに継承者の発掘に努めていく必要がある。

【学識経験者の意見等】

少ない職員体制の中で、多くの事業をこなすのは大変な労力と思われる。人員の確保が急務であると思う。

また、牛袋法印神楽、亙理枅取り舞、亙理獅子舞など、町指定無形民俗文化財の保存の危機が懸念されているとのことで、住民にその周知を図るとともに、小中学生にも働きかけるなど、外部の力も借りて継承者の発掘に努めてほしい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 ㊸ 文化財めぐり事業	【担当班等】 生涯学習課 文化財班
【重点施策の項目等】 (3) 文化の創造と活用 ㊸ 文化財・文化遺産の保護・保存と活用の推進	
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 <u>事業の概要</u> 町内すべての小学6年生が町内に現存する史跡・遺跡を実際に見学し、亘理町についてより一層理解を深めるとともに貴重な文化財の保護保全に対する関心が高まるよう図る。 <u>実施状況</u> 5月から6月の間に、学級単位で国指定の史跡・天然記念物、県指定文化財を中心に亘理の歴史上重要な史跡・遺跡6か所と、補足・復習のために郷土資料館を見学する行程で12回実施し合計355人が参加した。 学校までの送迎時に児童がより安全にバスに乗降できるよう、長瀬小学校において乗降場所の見直しを行った。また、現地説明については各校の立地環境や修学旅行先を考慮して行い、町の歴史を漫然とではなく身近に感じられる内容にした。 <u>成果と課題等</u> 1 亘理の史跡・遺跡を実際に見学し学習することにより、亘理町の一層の理解と文化財保護への関心を高めることができた。 2 課題となっていた文化財めぐりのパンフレットを活用した事前学習の状況差による興味関心度の差異については、事前学習を担当教師本位ではなく学校としての取り組みにより、徐々に解消されている状況である。	
【学識経験者の意見等】 文化財めぐり事業については、各校の実情に合わせた現地説明等、きめ細かい工夫が見られた。子どもたちも日本の歴史の中に郷土の歴史を位置づけて学んでくれると思う。 学校側でも、担任教師だけでなく全体として取り組むようになったとのことで、大変喜ばしいことであり、今後も継続してほしい。	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】 ㊸ 郷土資料館事業（資料収集・保存）</p>	<p>【担当班等】 生涯学習課 文化財班</p>
<p>【重点施策の項目等】 (3) 文化の創造と活用 ㊸ 文化財・文化遺産の保護・保存と活用の推進</p>	
<p>【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】</p> <p><u>事業の概要</u></p> <p>1 資料を収集し、保存するため施設・設備の適切な保守管理に努める。 2 被災した資料の保存整理に努める。</p> <p><u>実施状況</u></p> <p>1 資料収集・保存</p> <p style="padding-left: 20px;">『収集』 町内の個人、団体から821点の資料が寄贈された。また、中央公民館から小倉百人一首1点が移管された。</p> <p style="padding-left: 20px;">『保存』 環境調査実施 期 間 平成25年7月10日～平成25年12月27日 場 所 常設・企画展示室、収蔵庫、悠里館出入口及び外周 調査内容 加害生物調査、浮遊菌調査を4回実施</p> <p style="padding-left: 20px;">『施設・設備の保守』 施設・設備を効果的に運用するため、点検作業を委託し、常設展示室やくん蒸庫の適切な保守に努めた。</p> <p>2 被災ミュージアム再興事業 被災資料の整理と保管、修復、被災した博物館等の再興を目的とした事業 (宮城県委託事業)</p> <p style="padding-left: 20px;">『資料整理』 荒浜地区の旧家からレスキューした被災資料約20,000点を整理した。</p> <p><u>成果と課題等</u></p> <p>1 荒浜地区の旧家からレスキューした被災資料約20,000点の整理を進めているが、修復や資料の詳細なデータをとることが課題となってきた。</p> <p>2 震災以降、資料館に資料の寄贈を希望する方が多くなっている。しかし、収蔵スペースには限りがあり、すでに収蔵している資料については断っている状況である。そのため受け入れ資料の収蔵スペースの確保が課題である。</p>	
<p>【学識経験者の意見等】</p> <p>膨大な被災資料の整理、修復については、手一杯の状態、担当職員だけでは処理しきれない状況にあるようである。これからがさらに大変と思われるが、今後とも町の重要な一大事業として位置づけ、積極的に推進してほしい。</p>	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 ㊿ 郷土資料館事業 (展示関係)	【担当班等】 生涯学習課 文化財班
【重点施策の項目等】 (3) 文化の創造と活用 ㊿ 郷土の歴史と生活文化に親しむ活動の推進	
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 <u>事業の概要</u> 収集した資料の展示会を開催することにより収蔵資料の活用に努める。 <u>実施状況</u> 1 第17回収蔵資料展 期 間 平成25年5月5日～6月30日 (開催日数47日) 観覧者数 897人 (1日平均19人) 観 覧 料 常設展料金 2 企画展「編む一草・藁・竹が形づくるもの一」 期 間 平成25年10月5日～11月24日 (開催日数42日) 観 覧 者 758人 (1日平均19人) 観 覧 料 一般100円/高校生50円/小中学生無料 常設展観覧者は、無料 * 10月19日 編む×3体験会(草の日) 編布コースターづくり体験 6人 * 10月26日 編む×3体験会(竹の日) 花かごづくり体験 6人 * 11月 9日 編む×3体験会(藁の日) 年縄づくり体験 4人 <u>成果と課題等</u> 展示事業においては当初の予定どおり実施した。企画展については伝統技術や様式美を紹介する展示を行い、町内に在住する技術者を講師に迎えた体験会も実施した。 企画展における体験会は参加者があまり集まらなかったため、今後の課題である。	
【学識経験者の意見等】 企画展の内容に関連させた体験会を催したことは、展示内容をより理解させ、より印象づけるためにも良い工夫がされた事業であると思う。 ただ、体験会の参加者が少なかったとのことであり、これを教訓として広報のあり方や町民の興味・関心の方向性等を把握し、今後の企画に活かして事業を継続して欲しい。	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 ㊸ 郷土資料館事業 （教育普及活動）	【担当班等】 生涯学習課 文化財班
【重点施策の項目等】 (3) 文化の創造と活用 ④ 郷土の歴史と生活文化に親しむ活動の推進	
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 <u>事業の概要</u> 郷土の歴史を学んだり、昔のくらしの道具を使った体験学習や伝統文化に親しむ活動などを通して教育普及活動を推進する。 <u>実施状況</u> 1 「特別開館日」関係 観覧料無料、体験コーナー、各種イベントを行った。 「G o G o 悠里館まつり」(図書館との合同事業) 期 日 平成25年 5月5日(こどもの日) 観覧者263人 「オープンミュージアム」 期 日 平成25年11月3日(文化の日) 観覧者276人 2 夏休み子ども講座「勾玉を作ってみよう」 期 日 平成25年8月17日、 参加者 30人(午前14人午後16人) 3 年中行事講座「おひなさまを作ろう」 期 日 平成26年2月15日、 参加者 17人 4 資料の貸出と学芸員の派遣事業 (学社融合推進事業) 期 日 平成25年10月29日、 参加者 4年生133人 場 所 亘理小学校 内 容 「用水を作った道具」の展示及び体験指導を行った。 5 出前講座事業「移動しりょうかん」(学社融合推進事業) 「昔のくらしの道具の学習と体験」 期 日 平成26年1月21日、2月4日、2月5日、2月7日 場 所 高屋小、長瀨小、逢隈小、亘理小 (小学3年生対象) 参加者 高屋小10人、長瀨小27人、逢隈小83人、亘理小120人 内 容 小学校へ出向いて、昔のくらしの道具を用いた体験活動を行った。 (天秤棒・炭火アイロン・箱枕・洗濯板を使用体験)	

6 「ものしり大学院」講座

第1回「地層に残された過去の大規模災害」

期 日 平成26年3月8日

講 師 東北学院大学教養学部地域構想学科教授 松本秀明氏

参加者 74人

第2回「災害と資料保全」

期 日 平成26年3月15日

講 師 東北大学災害科学国際研究所 准教授 佐藤大介氏

参加者 54人

第3回「亘理と自然災害」

期 日 平成26年3月22日

講 師 亘理町立郷土資料館 学芸員 菅野達雄

参加者 70人

7 博物館実務実習

期 間 平成25年8月16日～23日

実習生 ①宮城学院女子大学 3年生 1人

②東北学院大学 3年生 2人

成果と課題等

- 1 教育普及活動はここ数年固定化しているが、内容については変化を加えており、新規の参加者も多い傾向にある。
- 2 開館20年を迎えて新規事業も必要な時期ではあるが、職員の業務が多岐にわたるため取り組めない状況となっているのが課題である。

【学識経験者の意見等】

「ものしり大学院」講座は、過去の災害に着目した重要な内容を取り上げており、その企画力を高く評価したい。

参加者は少なかったようであるが、大災害が起こると言われている今日、時宜にかなった内容であったと心から思う。担当職員の労苦に感謝するとともに、今後ともより良い事業を展開されたい。

ただ、開催日時が、町の大きな行事と重ならないような配慮をお願いしたい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 ㊸ 町史編さん事業	【担当班等】 生涯学習課 文化財班
【重点施策の項目等】 (3) 文化の創造と活用 ⑤ 町史編さん事業の推進	
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 <u>事業の概要</u> 亶理町史「自然編」を平成28年度刊行、「民俗編」を平成27年度刊行、「資料編」を平成26年度から順次刊行を目標に編さん作業を進める。 <u>実施状況</u> 1 第1回町史編さん委員会 期 日 平成25年7月11日 内 容 平成24年度事業実施状況と25年度以降の計画 ① 自然編 平成26年度刊行から平成28年度刊行予定に計画変更 ② 民俗編 計画変更せず平成27年度刊行予定 ③ 資料編 平成26年度から順次「資料」を出して行く、平成26年度は亶理町誌、荒浜村郷土誌、吉田村誌、逢隈村郷土誌を刊行予定 2 町史編さん調査 ① 執筆者、調査員の新任について 11月から民俗部会で調査員1名を新任した。 ② 調査回数 自然編 11回 調査場所 吉田浜、鳥の海、松ヶ崎周辺 民俗編 24回（個別22回、共同調査2回） 調査項目 衣、食生活、年中行事、信仰、町並、屋敷林 *調査のほか部会において、本の体裁、活動計画などを協議した。 3 今後の予定について 亶理町史「自然編」については、平成28年度刊行予定に変更した。「民俗編」については、平成27年度刊行予定。資料編は小冊子形式とし、全10巻前後を随時刊行していく。 <u>成果と課題等</u> 東日本大震災後、資料レスキュー事業が加わったため、町史編さん事業に時間を割く余裕がなくなり、事業の進行が遅れている。遅れている事業をいかに促進させるかが課題である。	
【学識経験者の意見等】 町史編さんについては、担当職員が限られている中で、計画より遅れているものの、着実に事業が進行されている。 他の事業の影響により進行が遅れているのは、やむを得ないと思われるが、今後も進捗状況を確認しながら、計画的に進めてほしい。	

(4) 社会体育とスポーツの振興

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p>④⑩ 公民館事業 (社会体育)</p> <p style="text-align: center;">(亘理中央・逢隈・荒浜・吉田地区公民館)</p>	<p>【担当班等】</p> <p>生涯学習課</p> <p style="text-align: center;">スポーツ推進班</p>
<p>【重点施策の項目等】</p> <p>(4) 社会体育とスポーツの振興</p> <p style="padding-left: 20px;">① 町民総参加による生涯スポーツの振興</p>	
<p>【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】</p> <p><u>事業の概要</u></p> <p>社会体育事業を通し地域住民相互の親睦融和と健康増進、明るい豊かな地域づくりを図る。</p> <p><u>実施状況</u></p> <p>東日本大震災後4地区公民館事業については職員数の減少、地区住民数の減少により従来の事業を実施出来ない施設もある。</p> <p>(中央公民館) ・町民ウォークラリー大会・地区ニューススポーツ交流会・グラウンドゴルフ交流大会</p> <p>(逢隈公民館) ・地区ゲートボール大会・ソフトボール大会・ニューススポーツ大会・少年サッカー大会</p> <p style="padding-left: 40px;">・ソフトバレーボール大会</p> <p>(吉田公民館) ・ニューススポーツ祭・卓球大会</p> <p>(荒浜公民館) ・当該年度 実施事業なし</p> <p><u>成果と課題等</u></p> <p>参加者数が減少しているため事業内容を精査し少ない人数でも出来る事業を取り入れ参加者数を増やすように努めた。</p> <p>若い世代から高齢者までが参加できるニューススポーツ等を取り入れた事業の推進に努めたがニューススポーツ内容を住民に説明していかなければならない。</p>	
<p>【学識経験者の意見等】</p> <p>ニューススポーツの取り入れも有意義であるが、町民に親しまれている既存の大会を盛り上げる工夫も必要である。マンネリにならない運営の仕方を考えてほしい。</p> <p>また、町づくり協議会など関係機関と連携を密にし、適切な運営をされるようお願いしたい。</p>	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p>④ 佐藤記念体育館 （社会体育）</p>	<p>【担当班等】</p> <p>生涯学習課</p> <p style="text-align: center;">スポーツ推進班</p>
<p>【重点施策の項目等】</p> <p>（４） 社会体育とスポーツの振興</p> <p style="padding-left: 20px;">① 町民総参加による生涯スポーツの振興</p>	
<p>【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】</p> <p><u>事業の概要</u></p> <p>各種スポーツ教室・大会を開催し、生涯にわたって親しめるスポーツなどの普及を図る。</p> <p><u>実施状況</u></p> <p>町民の方に各種スポーツ教室、大会を開催しスポーツに親睦を図るため関係団体と連携を取りながら事業を行なっている。</p> <p style="padding-left: 40px;">{ 事業内容 }</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピラティス教室 ・体力づくり教室 ・中高年スポーツ教室 ・ストレッチポール教室 ・町民ソフトバレーボール大会 ・夏期青少年錬成大会 ・寒げい古 <p><u>成果と課題等</u></p> <p>各教室、大会等を行い住民の健康増進に努めた。</p> <p>各種教室を行なっているが、参加者が毎回同じになってきている、愛好会等を作るよう進め、初心者優先の教室を行なっていきたい。</p>	
<p>【学識経験者の意見等】</p> <p>愛好会を作るよう進め、初心者優先の教室とするのは良い方向と思われる。</p> <p>また、町づくり協議会など関係機関と連携を密にし、適切な運営をされるようお願いしたい。</p>	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p>④ 吉田体育館事業・荒浜体育館事業 （社会体育）</p>	<p>【担当班等】</p> <p>生涯学習課</p> <p style="text-align: center;">スポーツ推進班</p>
<p>【重点施策の項目等】</p> <p>（４） 社会体育とスポーツの振興</p> <p style="padding-left: 20px;">① 町民総参加による生涯スポーツの振興</p>	
<p>【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】</p> <p><u>事業の概要</u></p> <p>各種スポーツ教室・大会を開催し、生涯にわたって親しめるスポーツなどの普及を図る。</p> <p><u>実施状況</u></p> <p>東日本大震災により住民数の減少に伴い若い世代から高齢者まで、誰でも参加できるニュースポーツを取り入れ地域住民相互の親睦融和と健康増進を図ったが、荒浜体育館事業は住民減少により、まだ実施できていない。</p> <p style="padding-left: 40px;">（吉田体育館） ・ニュースポーツ祭 28名参加 ・卓球大会 18名参加</p> <p style="padding-left: 40px;">（荒浜体育館） 東日本大震災の影響により行えなかった。</p> <p><u>成果と課題等</u></p> <p>震災後、住民数が減少しているため、誰でも楽しみながら参加でき体力増進と健康維持及び親睦を図る為ニュースポーツ等の普及を行っているが、参加人数は増えていないので、さらに工夫をして事業を進めたい。</p>	
<p>【学識経験者の意見等】</p> <p>体力増進と親睦を図るためのニュースポーツの導入であるが、開催時期や広報の仕方等、参加者を増やす手立てが必要である。</p> <p>また、町づくり協議会など関係機関と連携を密にし、適切な運営をされるようお願いしたい。</p>	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 ㊸ 海洋センター事業 （社会体育）	【担当班等】 生涯学習課 スポーツ推進班
【重点施策の項目等】 (4) 社会体育とスポーツの振興 ① 町民総参加による生涯スポーツの振興	
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 <u>事業の概要</u> 町民が、海洋性スポーツの活動を実践することにより、海事思想への理解と普及を図る。 <u>実施状況</u> 海洋センター施設として体育館・プール・艇庫の3施設がありますが、東日本大震災の津波により、艇庫施設が壊滅状態となったため、しばらくの間運営が出来ません。運営できるのは、体育館・プールとなっています。 震災でプールが使えない亘理町内小学校にプール使用を行なっています。 体育館事業は従来通りの内容になっています。プール事業では小学生水泳教室の申請者が増えているため1年生～4年生まで各学年に分けて教室を行っています。 艇庫が使えない状態のため、プールでのカヌー体験を行なっています。 (体育館事業) ・いきいきスポーツ教室 ・転びにくい体づくり教室 ・フロアリズム幼児運動教室 (プール事業) ・小学生水泳教室(1年生～4年生各学年) ・水上フェスティバル (研 修 会) ・フロアリズム幼児運動 ・転倒寝たきり予防プログラム (大 会) ・小学生水泳記録会 ・中学生水泳記録会 <u>成果と課題等</u> 海洋性スポーツを取入れた事業を行い参加者に親しまれている。事業内容により利用者に安全な指導をしていく上で、職員の研修等も含め資質向上が不可欠である。 今後も、B&G財団で必要としている資格者(指導員)を育成していく必要がある。	
【学識経験者の意見等】 水泳に興味を持たせ、一人でも泳げる子が増えることは、大きな意義があるので、人気の小学生水泳教室は、ぜひ今後も継続してほしい。 海洋センター施設である体育館・プール等は、本町民にとって必要不可欠なスポーツ施設になっている。その恩恵に応えるためにもB&G財団で必要としている資格者(指導者)の育成に、努めてほしい。	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p>④ スポーツ顕彰式</p>	<p>【担当班等】</p> <p>生涯学習課</p> <p style="text-align: center;">スポーツ推進班</p>
<p>【重点施策の項目等】</p> <p>(4) 社会体育とスポーツの振興</p> <p style="padding-left: 40px;">② 生涯スポーツ関係団体・指導者の育成と競技力の向上</p>	
<p>【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】</p> <p><u>事業の概要</u></p> <p>町民の体育及びスポーツ振興を促進し、競技力水準の向上を図り、併せて町民意識の高揚に資するため、スポーツに関して顕著な成果をあげた者及び団体を顕彰する。</p> <p><u>実施状況</u></p> <p>町内居住者の方及び学校・事務所に通勤している個人及び団体の方が対象。</p> <p>広報わたり及び近隣の学校・県体育協会等に通知するよう依頼し、各スポーツ面において功績のあった者及び優秀な成績をあげた者及び団体を毎年顕彰している。</p> <p style="padding-left: 40px;">表彰者数 23人 ・奨励賞 21 (個人20人、団体1団体)</p> <p style="padding-left: 80px;">・功績賞 2 (個人2人)</p> <p><u>成果と課題等</u></p> <p>各大会で毎年好成績を収め表彰を受けている方、初めて表彰を受ける方が一堂に集まり表彰をしていくことは、町事業として有意義なものである。</p> <p>表彰に伴い町として表彰基準を明確にし表彰者を選定していくことが課題である。</p>	
<p>【学識経験者の意見等】</p> <p>表彰により、スポーツ振興や競技力の向上を図るというねらいが達成されているか、という視点で見直しをする必要があると思う。各種大会が多様化するほど、明確な顕彰規程が必要であり、選考に難があるとするならば、従来の規程を見直すことも検討してほしい。</p>	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p>④ 海洋センター管理事業</p>	<p>【担当班等】</p> <p>生涯学習課 スポーツ推進班</p>
<p>【重点施策の項目等】</p> <p>(4) 社会体育とスポーツの振興</p> <p>③ スポーツ施設・設備等の充実と効率的活用の推進</p>	
<p>【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】</p> <p>事業の概要</p> <p>体育館、プール施設において事業が円滑にできるよう施設整備を図り、利用者の利便性及び安全性の向上に努める。</p> <p style="padding-left: 40px;">※ 艇庫施設は、東日本大震災により活動休止中</p> <p>実施状況</p> <p>海洋センター施設は現在、体育館・プールの2施設を管理運営しているが、設置から33年が経過し老朽化が進行している。体育館については、東日本大震災後、照明の交換、トイレ修繕等が、プールについては、鉄骨の腐食とシートの老朽化により茶色に変色し表面がもろくなり裂けてきている状態のため、平成26年度には財団から交付金を受け修繕を行う。</p> <p>今後、B&G財団から施設の整備補助を受けやすくするため、利用者の向上がなされるよう各事業を展開している。</p> <p>成果と課題等</p> <p>設置後33年が経過し、老朽化、腐食化等による交換、修繕箇所が多くなってきているため、使用者が安全に利用できるよう各施設の整備を行っている。</p> <p>B&G財団の補助を受けながら修繕等を行うため、高い補助率を確保できるよう、B&G財団が定める評価規定の基準を満たす利用率の向上が図られるような事業を展開していく。</p>	
<p>【学識経験者の意見等】</p> <p>海洋スポーツについての町民のニーズを把握し、利用率の向上が図られるような事業を展開してほしい。</p> <p>また、B&G財団が定める評価規定の基準を満たすよう、利用率を高めることが、補助金を多く確保する方法であるとのこと。このことを広く町民に周知し、協力を願うことが肝要である。</p>	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p>④ 吉田体育館・荒浜体育館管理事業</p>	<p>【担当班等】</p> <p>生涯学習課</p> <p style="text-align: center;">スポーツ推進班</p>
<p>【重点施策の項目等】</p> <p>(4) 社会体育とスポーツの振興</p> <p style="padding-left: 20px;">③ スポーツ施設・設備等の充実と効率的活用の推進</p>	
<p>【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】</p> <p><u>事業の概要</u></p> <p>利用者が安心して円滑に事業をできるよう施設整備を図り、利用者の利便性及び安全性の向上に努める。</p> <p><u>実施状況</u></p> <p>平成23年3月11日の東日本大震災の津波被害により閉館していたが、復旧工事を行い平成25年7月から開館した。</p> <p>利用者はまだ少ないが、団体・一般の町民が利用しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 荒浜体育館 3, 112人 (7月～3月まで利用人数) ・ 吉田体育館 6, 139人 (同 上) <p><u>成果と課題等</u></p> <p>東日本大震災後の修繕工事により、利用者が安心して使用できるようになった。</p> <p>住民が減少している中、利用者の利便性を図りより利用しやすい施設を目標に管理して行く。</p>	
<p>【学識経験者の意見等】</p> <p>修繕工事により施設が再開でき、利用が図られたことは、何よりである。</p> <p>今後も、町民が気軽にスポーツに親しめるよう、利便性、安全性の向上に留意して管理・運営に努めてほしい。</p>	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】</p> <p>④ 屋外体育施設整備事業（公認マラソンコース整備事業）</p>	<p>【担当班等】</p> <p>生涯学習課 スポーツ推進班</p>
<p>【重点施策の項目等】</p> <p>（４） 社会体育とスポーツの振興</p> <p style="padding-left: 20px;">③ スポーツ施設・設備等の充実と効率的活用の推進</p>	
<p>【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】</p> <p><u>事業の概要</u></p> <p>荒浜から磯浜を折り返すマラソンコースで、県内唯一の公認コースとして希少であることから、今後も継続してコースの整備を図っていきたいが、まだ活用できない状況にある。</p> <p>今後は、道路等が現状復旧してから活用していく。</p> <p><u>実施状況</u></p> <p>平成23年3月11日の東日本大震災の津波により、公認マラソンコースは大きな被害に合い、現在は使用できない状態です。</p> <p>公認期限が切れたため、更新はコースになる道路が復旧してから、新たに申請する予定です。</p> <p><u>成果と課題等</u></p> <p>現在、東日本大震災によりマラソン公認コースは使用できない状態である。</p> <p>旧マラソン公認コースが復旧し、再びコース設定を行う上で、交通量等の問題点が多数あり宮城県警との協議、亘理町内だけでコース設定が出来ない場合の対策等が、必要である。</p>	
<p>【学識経験者の意見等】</p> <p>公認マラソンコースの整備は、道路の復旧を待つことになるとのことだが、関係機関と協力しながら、より適切なコースの選定をすることも一考であると思う。</p> <p>「わたり復興マラソン大会」が、県外からも多数参加する町の一大イベントになっていることからみても、より競技色の強い公認マラソンコースを本町で確保し、間近に強豪選手を見られることは、一般ランナーの励みにもなるものであり、一日も早く復活することを願いたい。</p>	

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 ㊸ 社会体育事業（わたり復興マラソン大会）	【担当班等】 生涯学習課 スポーツ推進班
【重点施策の項目等】 （４） 社会体育とスポーツの振興 ㊸スポーツイベント・交流事業の推進	
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 <u>事業の概要</u> 町内外のマラソン愛好者が参加できる地域スポーツの振興と、参加者の健康増進及び町の活性化を図る。 <u>実施状況</u> 平成２３年３月１１日の東日本大震災後、震災前のコースが津波により全壊したため１年間大会ができなかった。 平成２４年度は、荒浜中学校校庭を会場に本郷地区への１０Ｋｍ折り返しのコースで、大会名を「わたり復興マラソン大会」と変更して行った。 平成２５年度は、荒浜地区のコースが工事により使用できない為、民間会社グラウンドを使用し、浜吉田方面のコースに変更して行った。 ・当日参加者数１，６５２人（申込者１，８００人） <u>成果と課題等</u> 東日本震災後、新たに違うコース設定で大会を行なっているが、各地方からと高齢者（８２歳）等の参加もあり、全体の参加者数も増え大変好評に行われた。 そのコースの設定にあたっては、関係機関とあらたな協議が必要であり調整が大変難航した。また、異なるコース設定で行う場合に、その都度参加者の駐車場確保や協力者の確保等について、今後も検討していかなければならない。	
【学識経験者の意見等】 マラソン愛好者は多く、このマラソン大会でも、団体で、個人で、親子でと、様々な形で参加し、応援する人の姿も年々増えてきている。せっきくの大会である、この大会の模様を公民館、あるいは悠里館通路等に写真や成績結果を掲載し、広く町民に知らせて欲しい。「鉄は熱いうちに打て。」という、参加者にとっては次回への意欲を、町民にはスポーツへの興味・関心を持たせてくれるものになると思う。 また、マラソン大会の新たなコース設定に伴う関係機関との協議など、ご苦労様であると思うが、町内外のマラソンファンの人気の事業にもなっているので、今後も継続して開催されていくことを願いたい。	

